

人権に関する市民意識調査  
結果報告書

令和5年3月  
燕市



# 目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査の種類と実施方法	1
3 回収結果	1
4 報告書を見る際の注意	1
II. 調査結果	2
回答者について	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
1. 人権全般について	3
(1) 人権や差別問題への関心	3
(2) 基本的人権が守られているか	4
(3) 自分の人権が侵害されたことがあるか	4
(4) 人権侵害されたと思った内容	5
(5) 人権侵害された場合の対応	6
(6) 関心のある人権問題	7
2. 女性の人権について	8
(7) 特に問題があると思う女性の人権	8
(8) 女性の人権を守るために必要なこと	9
3. 子どもの人権について	10
(9) 特に問題があると思う子どもの人権	10
(10) 子どもの人権を守るために必要なこと	11
4. 高齢者の人権について	12
(11) 特に問題があると思う高齢者の人権	12
(12) 高齢者の人権を守るために必要なこと	13
5. 障がいのある人の人権について	14
(13) 特に問題があると思う障がいのある人の人権	14
(14) 障がいのある人の人権を守るために必要なこと	15
6. 同和問題について	16
(15) 同和問題があることを知っているか	16
(16) 同和問題をはじめて知った時期	16
(17) 同和問題をはじめて知った経緯	17
(18) 問題があると思う同和問題の人権	18
(19) 同和地区出身とわかった場合の対応	19

(20) 子どもにおける同和地区出身者との結婚.....	19
(21) 同和地区出身者との結婚に強く反対された場合.....	20
(22) 同和問題解決のために必要なこと.....	21
(23) 部落差別解消推進法を知っているか.....	22
(24) 本人了承なしの身元調査について.....	22
(25) 本人通知制度を知っているか.....	23
7. 外国籍住民等の人権について.....	24
(26) 特に問題があると思う外国籍住民等の人権.....	24
(27) 外国籍住民等の人権を守るために必要なこと.....	25
8. 新型コロナウイルス感染症をめぐる人権について.....	26
(28) 特に守られていないと思うコロナウイルス感染症患者等の人権.....	26
(29) コロナウイルス感染症患者やその家族等への人権侵害について.....	27
(30) コロナウイルス感染症患者等の人権を守るために必要なこと.....	28
9. 感染症患者等の人権について.....	29
(31) 特に問題があると思う感染症患者等の人権.....	29
(32) 感染症患者等の人権を守るために必要なこと.....	30
10. 新潟水俣病患者等の人権について.....	31
(33) 特に問題があると思う新潟水俣病患者等の人権.....	31
(34) 新潟水俣病患者等の人権を守るために必要なこと.....	32
11. 性的マイノリティをめぐる人権問題について.....	33
(35) 性的マイノリティ、LGBTQという言葉の認知度.....	33
(36) 周囲に性的マイノリティはいるか.....	33
(37) 身近な人からのカミングアウトについて.....	34
(38) 守られていないと思う性的マイノリティの人権.....	35
(39) 性的マイノリティの人権を守るために特に必要なこと.....	36
12. インターネット上での人権侵害について.....	37
(40) 特に問題があると思うインターネットの利用.....	37
(41) インターネット上における人権侵害を無くすために必要なこと.....	38
13. 人権を守るための活動について.....	39
(42) 人権問題に関する講演会等に参加したことがあるか.....	39
(43) 必要と思われる人権に関する取組.....	40
Ⅲ. 総括.....	41
1. 調査結果のまとめ.....	41
2. 提言.....	43

# I. 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、本市の人権に関する施策をより効果的に推進していくため、市民の人権に関する意識について調査し、市民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりの実現に資することを目的とします。

## 2 調査の種類と実施方法

調査対象	18歳以上の市民
配布数	2,000人 を無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収・ウェブ回答
調査期間	令和4年11月18日～12月16日

## 3 回収結果

配布数	回収数	有効回収数
2,000人	745人 (回収率 37.3%)	743人 (回収率 37.2%)

## 4 報告書を見る際の注意

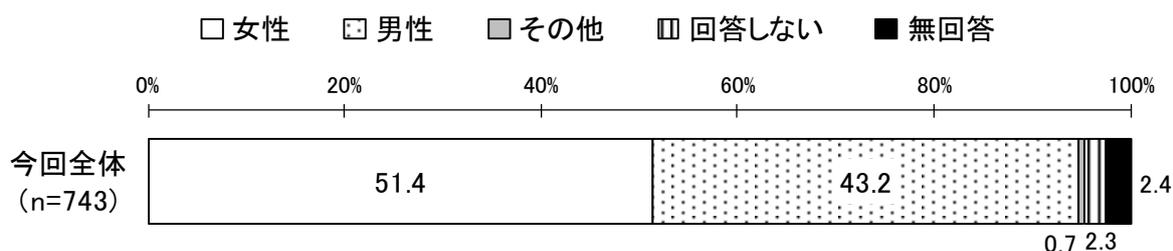
- ・ 回答項目の比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中の「n=〇〇」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
- ・ グラフに関しては、単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとなっています。棒グラフは、すべて割合による降順となっています。
- ・ 選択肢の文言が長い場合は、本文や図表中では文言を省略した表現を用いている場合があります。
- ・ 前回調査との比較について、一部文言の違いがあるため、該当する設問の比較は参考に留める必要があります。

## Ⅱ. 調査結果

### 回答者について

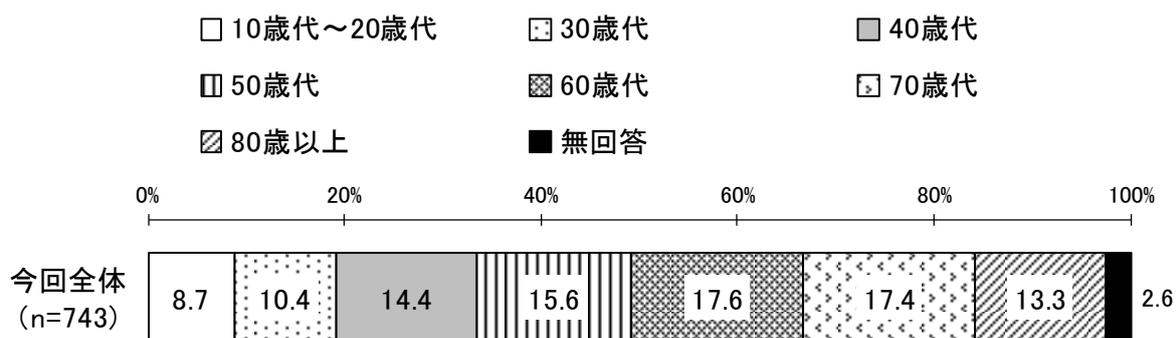
#### (1) 性別

性別は、「女性」(51.4%)、「男性」(43.2%)、「回答しない」(2.3%)などの順となります。



#### (2) 年齢

年齢は、「60歳代」の割合が17.6%で最も高く、次いで「70歳代」(17.4%)、「50歳代」(15.6%)などの順となっています。



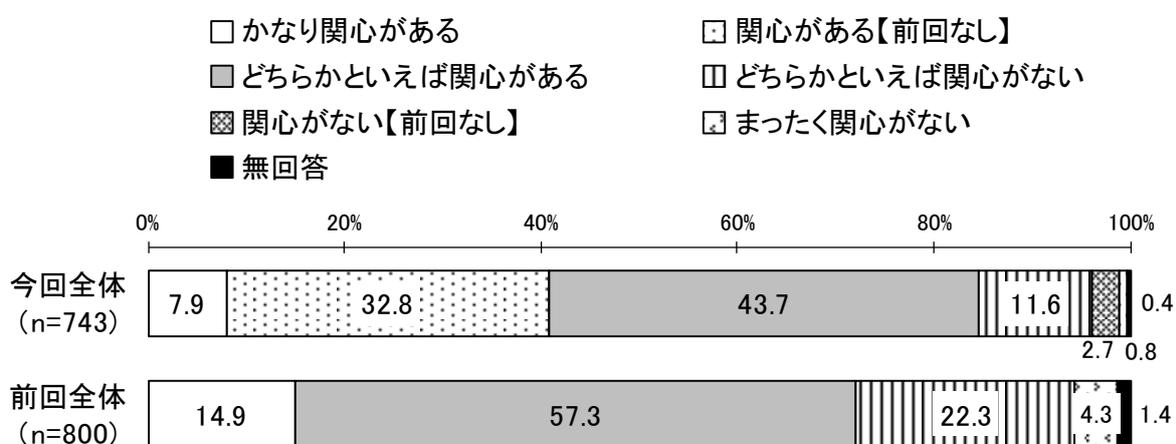
# 1. 人権全般について

## (1) 人権や差別問題への関心

問1 あなたは、人権や差別の問題に関心がありますか。

人権や差別の問題への関心は、「どちらかといえば関心がある」の割合が43.7%で最も高くなっており、「かなり関心がある」から「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”が84.4%と8割以上となっています。

前回調査では選択肢に違いがありますが、“関心がある”が72.2%となっており、今回調査の方が高くなっています。

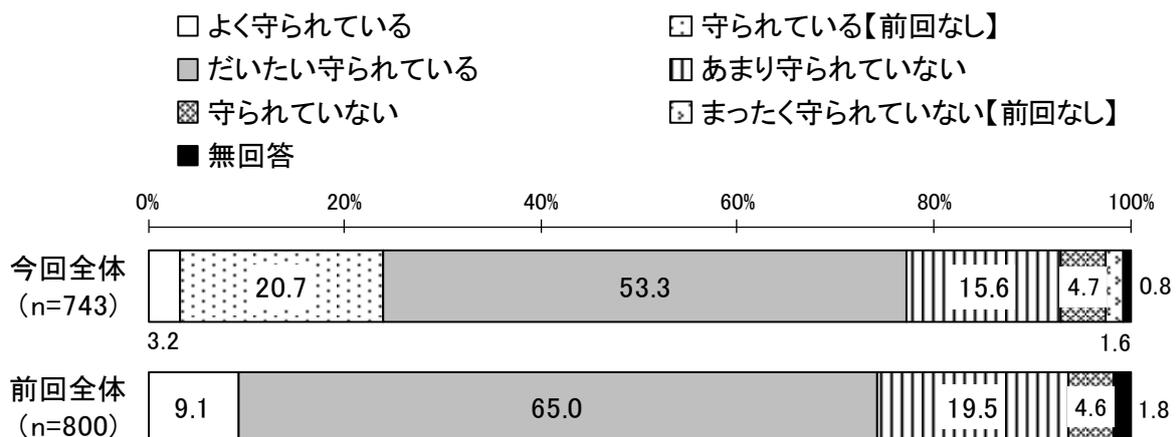


## (2) 基本的人権が守られているか

問2 あなたは、今の社会や身近な生活状況等を見て、基本的人権が守られていると思いますか。

基本的人権が守られていると思うかは、「だいたい守られている」の割合が 53.3%と最も高く、「よく守られている」から「だいたい守られている」を足した“守られている”は 77.2% となっています。

前回調査では選択肢に違いがありますが、“守られている”が 74.1%となっており、今回調査の方がやや高くなっています。

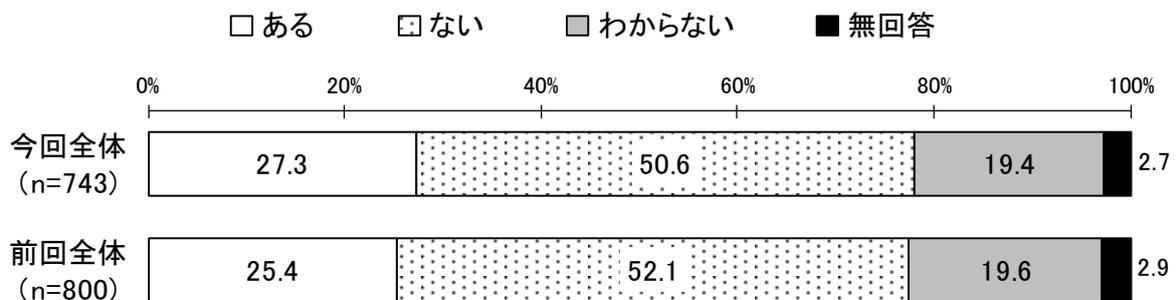


## (3) 自分の人権が侵害されたことがあるか

問3 あなたは、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

自分の人権が侵害されたと思ったことがあるかは、「ある」(27.3%)、「ない」(50.6%) となっています。

前回調査の「ある」「ない」の割合と同程度となっています。



#### (4) 人権侵害されたと思った内容

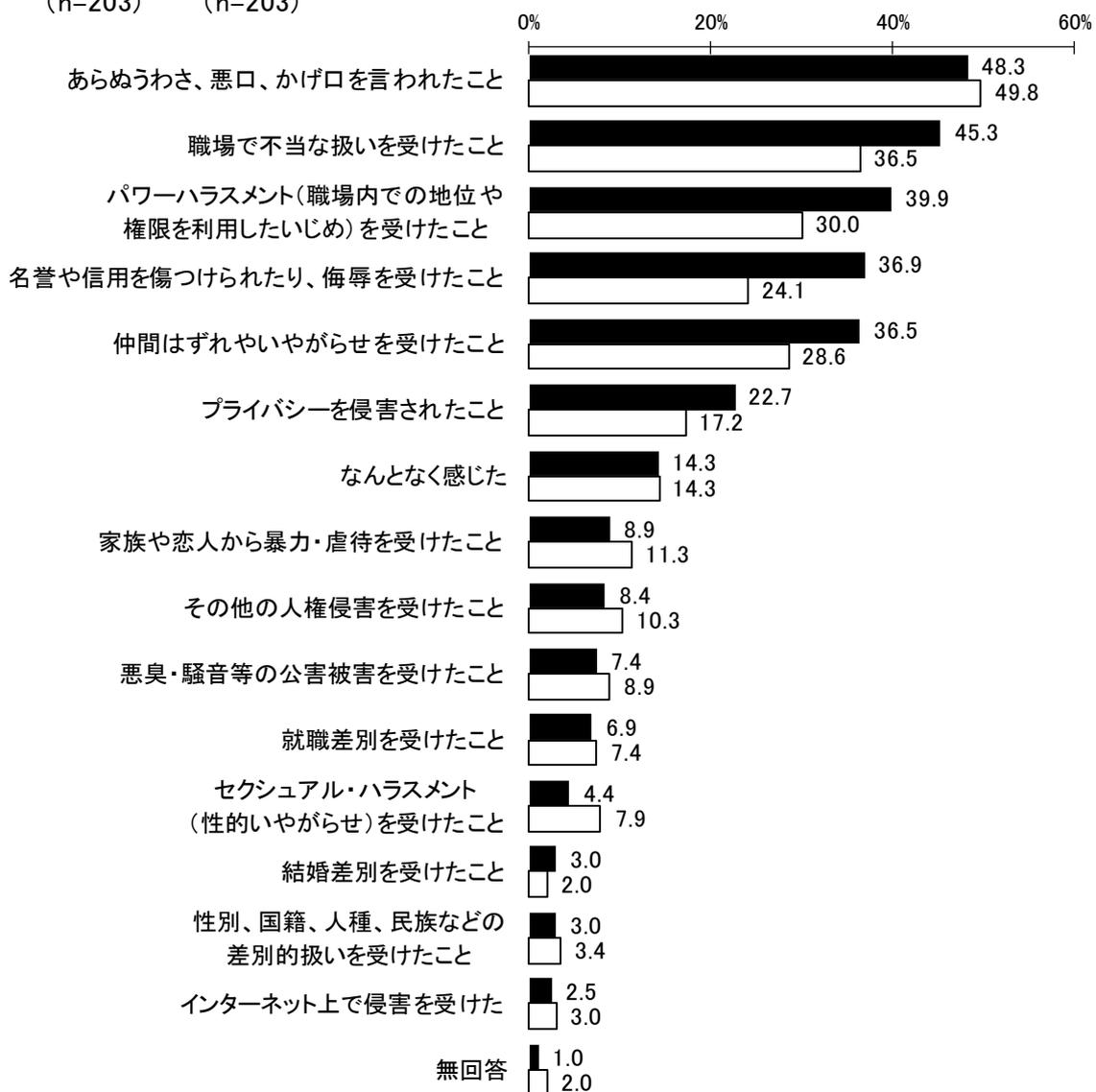
【問3で、「1 ある」と回答した方にお聞きします。】

問4 あなたは、どのようなことで、そう思いましたか。【複数回答】

人権が侵害されたと思った内容は、「あらぬうわさ、悪口、かげ口を言われたこと」の割合が48.3%と最も高く、次いで「職場で不当な扱いを受けたこと」(45.3%)、「パワーハラスメント(職場内での地位や権限を利用したいじめ)を受けたこと」(39.9%)などの順となっています。

前回調査からは、「パワーハラスメントを受けたこと」や「名誉や信用を傷つけられたり、侮辱を受けたこと」などの割合が高くなっています。

■今回全体 (n=203) □前回全体 (n=203)



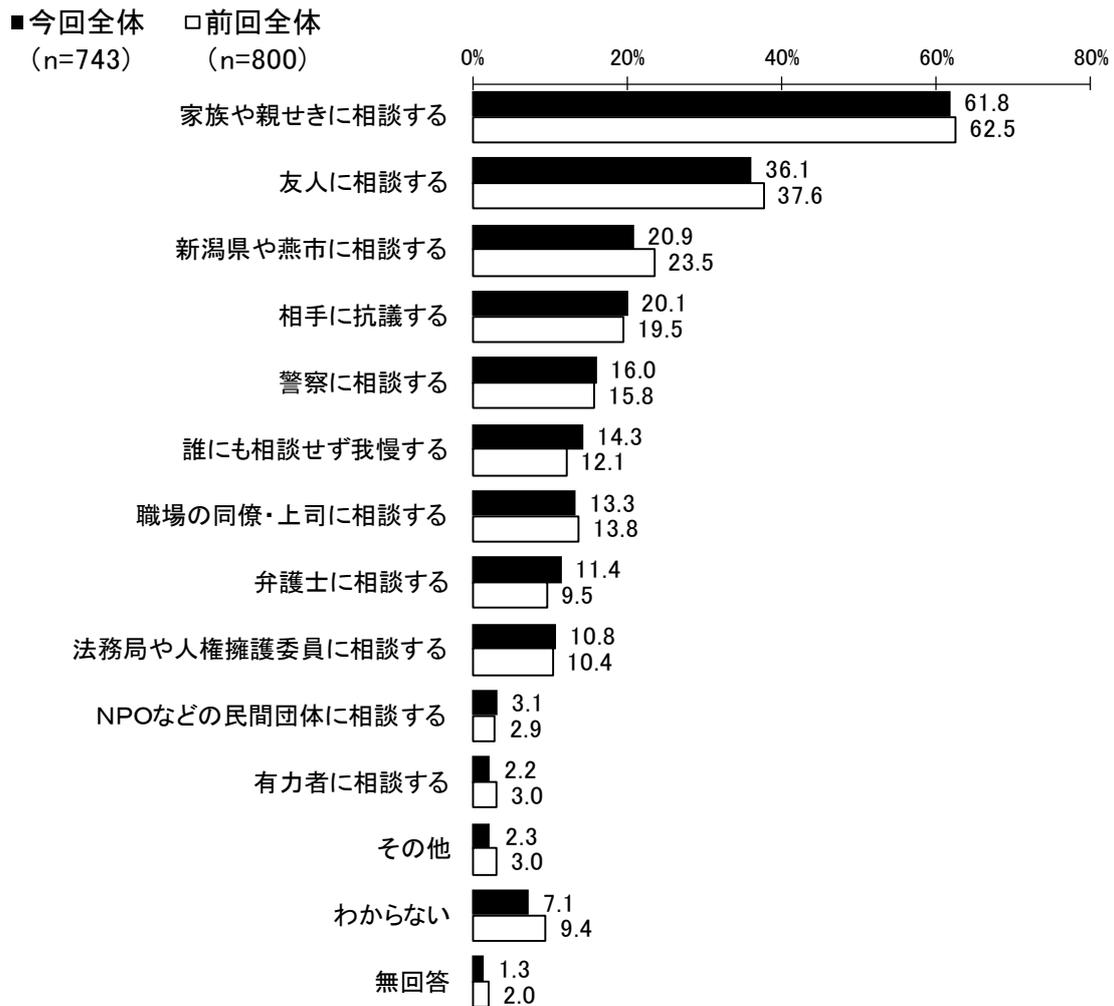
【複数回答】

## (5) 人権侵害された場合の対応

問5 あなたが、ご自分の人権を侵害された場合、どのような対応をしますか。【3つ以内】

人権を侵害された場合の対応は、「家族や親せきに相談する」の割合が61.8%と最も高く、次いで「友人に相談する」(36.1%)、「新潟県や燕市に相談する」(20.9%)などの順となっています。

前回調査との大きな違いはみられません。



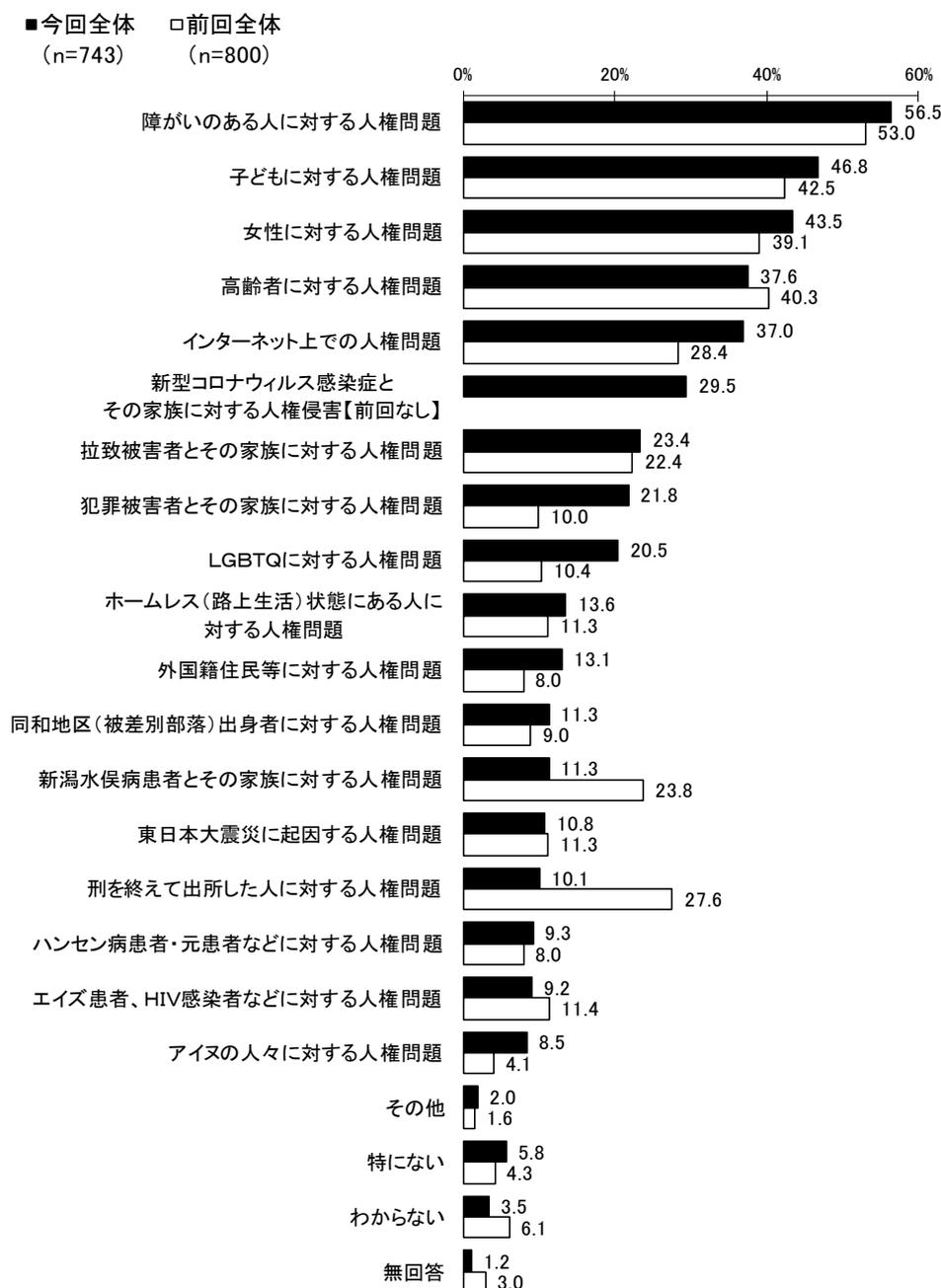
【複数回答】

## (6) 関心のある人権問題

問6 日本の社会には、人権に関わる課題がいろいろありますが、あなたは、どの人権問題に関心がありますか。【複数回答】

関心のある人権問題は、「障がいのある人に対する人権問題」の割合が56.5%と最も高く、次いで「子どもに対する人権問題」(46.8%)、「女性に対する人権問題」(43.5%)などの順となっています。

前回調査からは、「犯罪被害者とその家族に対する人権問題」や「LGBTQに対する人権問題」、「インターネット上での人権問題」がそれぞれ10ポイント程度高く、「新潟水俣病患者とその家族に対する人権問題」や「刑を終えて出所した人に対する人権問題」が低くなっています。



【複数回答】

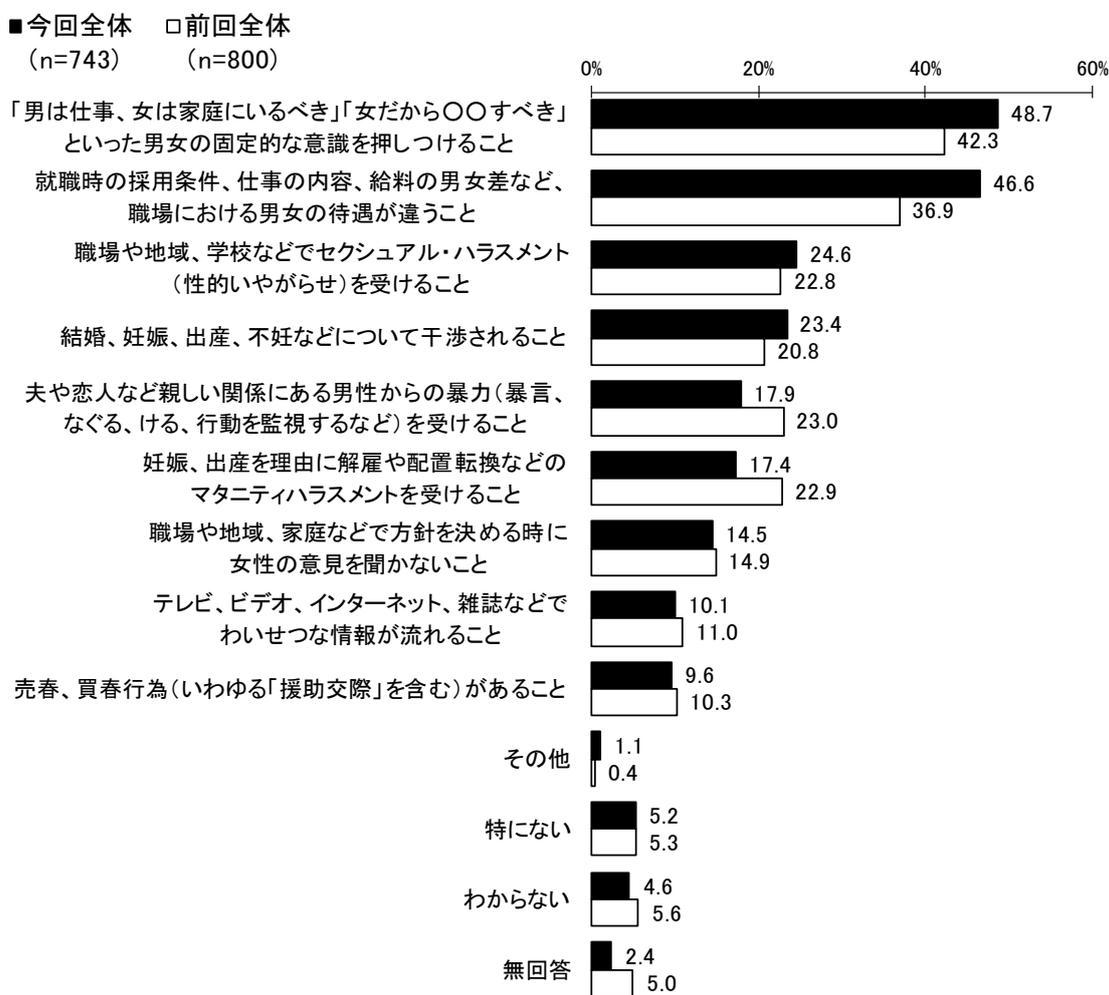
## 2. 女性の人権について

### (7) 特に問題があると思う女性の人権

問7 女性の人権について、あなたが、特に問題があると思うことはどのようなことですか。  
【3つ以内】

特に問題があると思う女性の人権は、「『男は仕事、女は家庭にいるべき』『女だから〇〇すべき』といった男女の固定的な意識を押しつけること」の割合が48.7%と最も高く、次いで「就職時の採用条件、仕事の内容、給料の男女差など、職場における男女の待遇が違うこと」(46.6%)、「職場や地域、学校などでセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)を受けること」(24.6%)などの順となっています。

前回調査からは、固定的な意識の押しつけや職場における待遇の差、の割合が高くなっています。

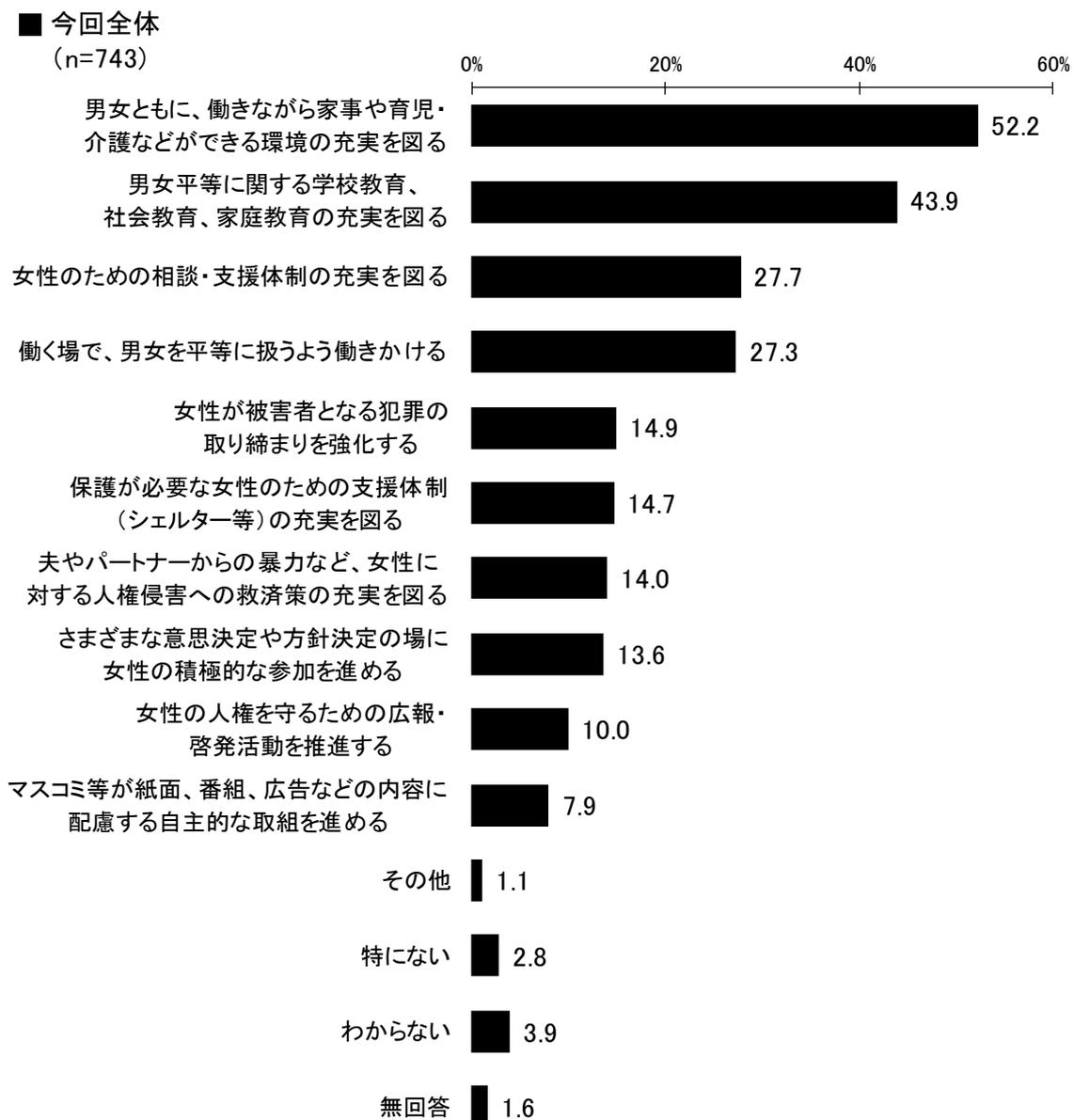


【複数回答】

## (8) 女性の人権を守るために必要なこと

問8 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
【3つ以内】

女性の人権を守るために必要なことは、「男女ともに、働きながら家事や育児・介護などができる環境の充実を図る」の割合が52.2%と最も高く、次いで「男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育の充実を図る」(43.9%)、「女性のための相談・支援体制の充実を図る」(27.7%)などの順となっています。



【複数回答】

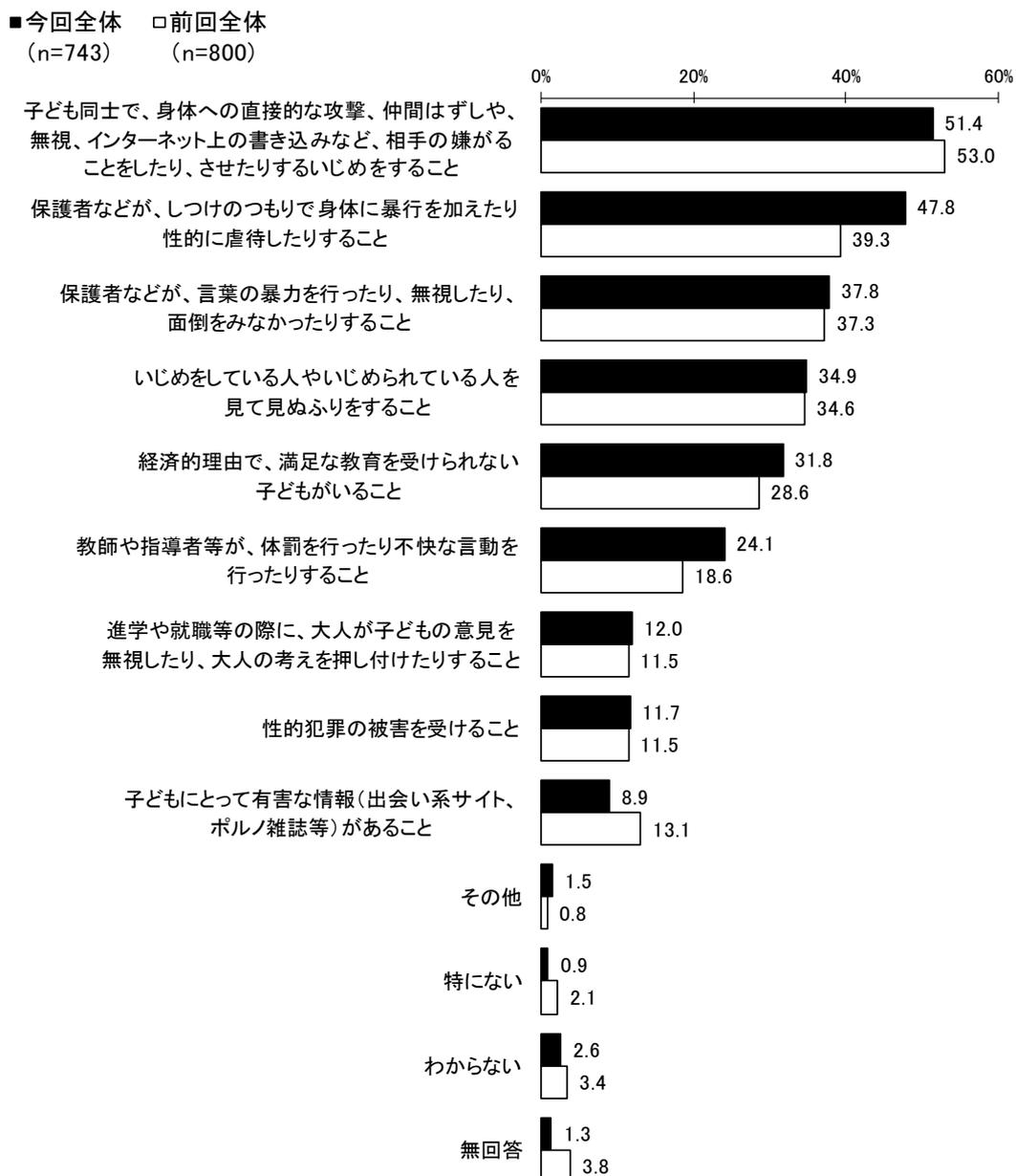
### 3. 子どもの人権について

#### (9) 特に問題があると思う子どもの人権

問9 子どもの人権について、あなたが、特に問題があると思うことはどのようなことですか。【3つ以内】

特に問題があると思う子どもの人権は、「子ども同士で、身体への直接的な攻撃、仲間はずしや、無視、インターネット上の書き込みなど、相手の嫌がることをしたり、させたりするいじめをすること」の割合が51.4%と最も高く、次いで「保護者などが、しつけのつもりで身体に暴行を加えたり性的に虐待したりすること」(47.8%)、「保護者などが、言葉の暴力を行ったり、無視したり、面倒をみなかたりすること」(37.8%)などの順となっています。

前回調査からは、保護者などからの身体暴力や性的虐待、教師や指導者等からの体罰や不快な言動、の割合が高くなっています。



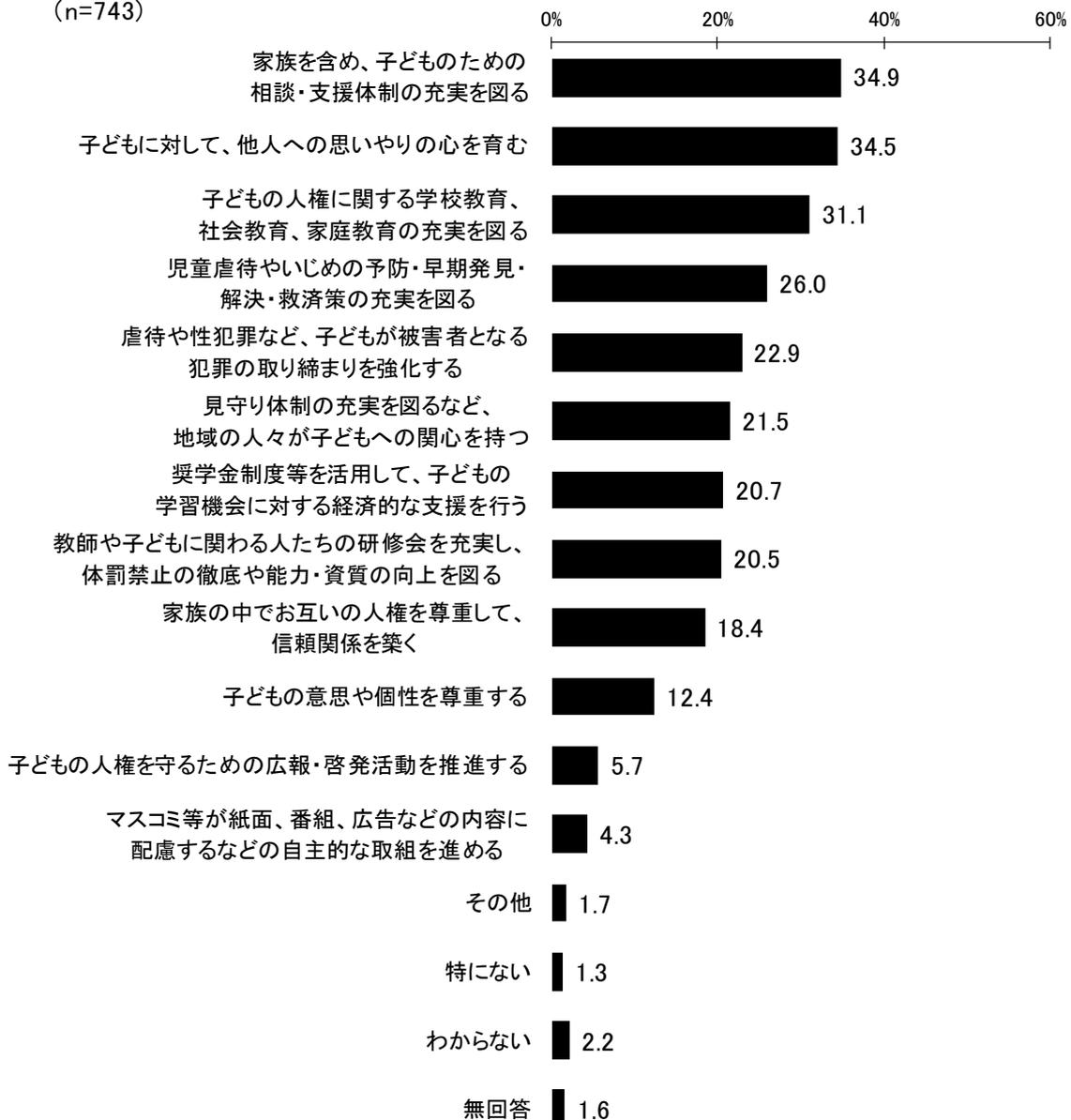
【複数回答】

## (10) 子どもの人権を守るために必要なこと

問10 あなたは子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
【3つ以内】

子どもの人権を守るために必要なことは、「家族を含め、子どものための相談・支援体制の充実を図る」の割合が34.9%と最も高く、次いで「子どもに対して、他人への思いやりの心を育む」(34.5%)、「子どもの人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育の充実を図る」(31.1%)などの順となっています。

■ 今回全体  
(n=743)



【複数回答】

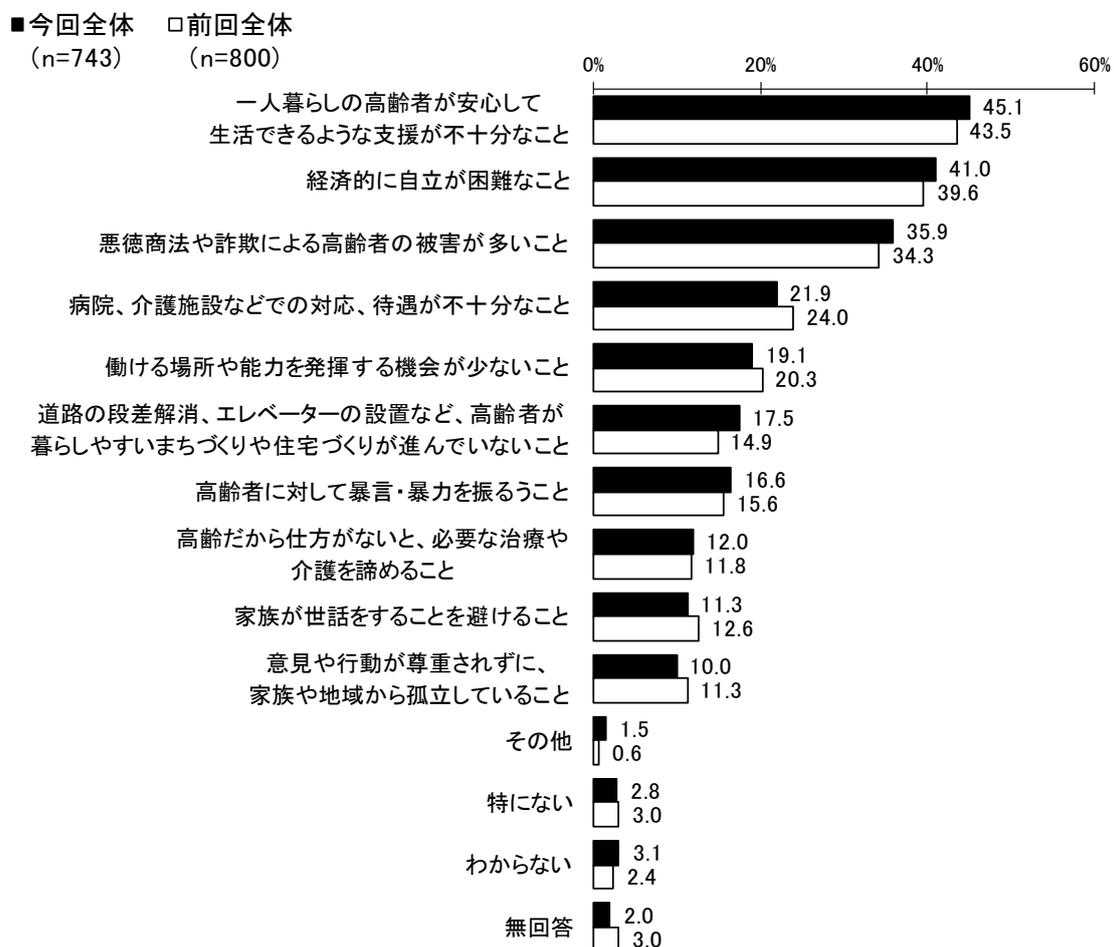
## 4. 高齢者の人権について

### (11) 特に問題があると思う高齢者の人権

問11 高齢者の人権について、あなたが、特に問題があると思うことはどのようなことですか。【3つ以内】

特に問題があると思う高齢者の人権は、「一人暮らしの高齢者が安心して生活できるような支援が不十分なこと」の割合が45.1%と最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」(41.0%)、「悪徳商法や詐欺による高齢者の被害が多いこと」(35.9%)などの順となっています。

前回調査との大きな違いはみられません。



【複数回答】

## (12) 高齢者の人権を守るために必要なこと

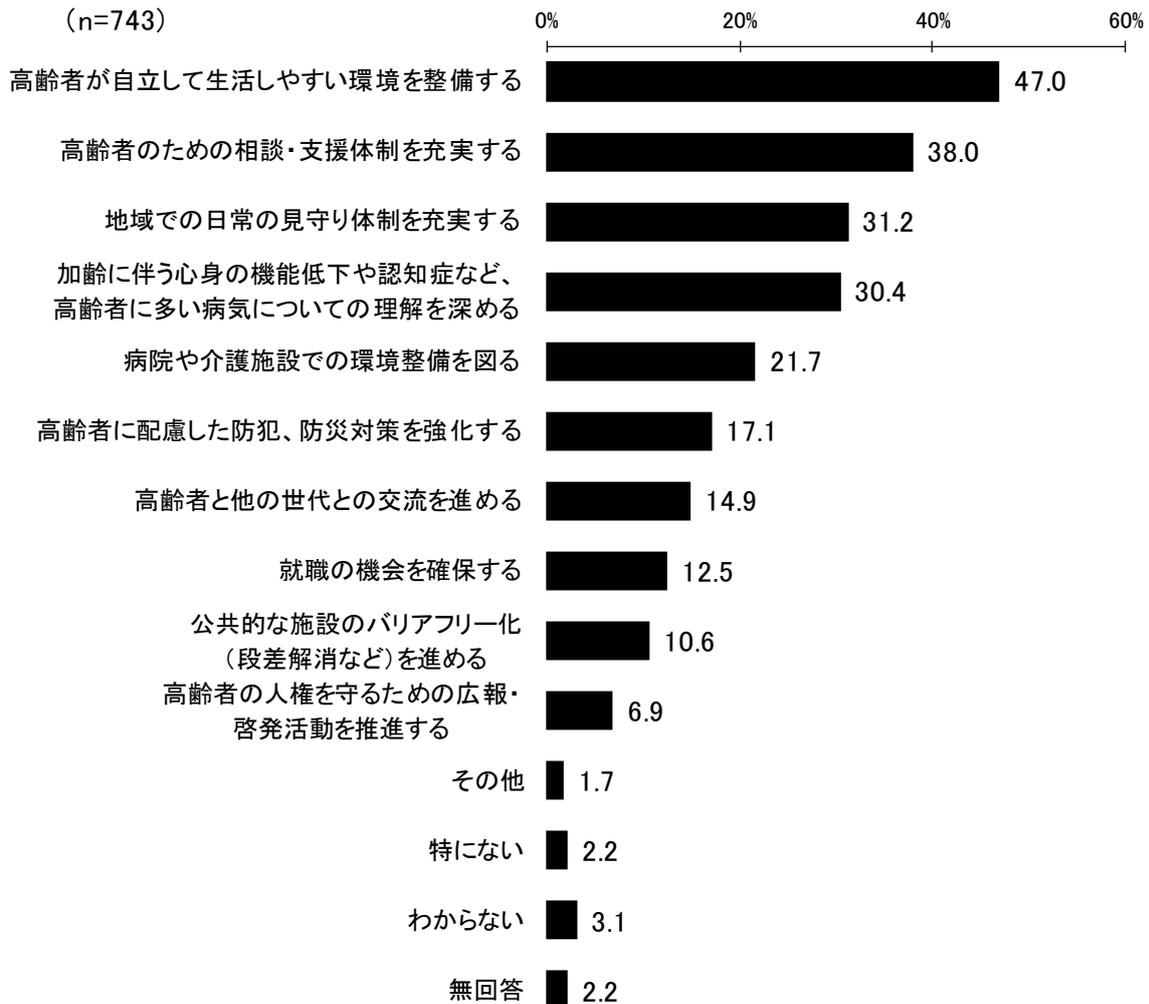
問12 あなたは高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【3つ以内】

高齢者の人権を守るために必要なことは、「高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」の割合が47.0%と最も高く、次いで「高齢者のための相談・支援体制を充実する」(38.0%)、「地域での日常の見守り体制を充実する」(31.2%)などの順となっています。

### ■ 今回全体

(n=743)



【複数回答】

## 5. 障がいのある人の人権について

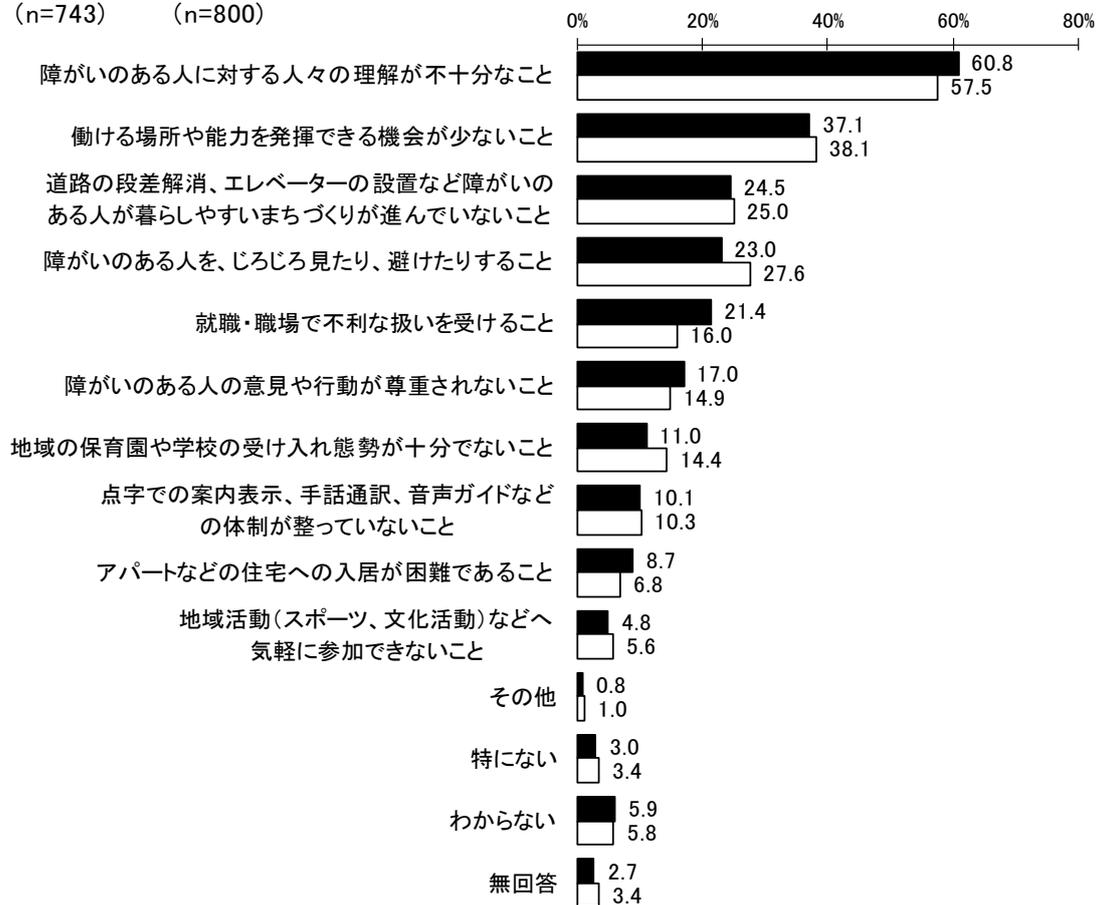
### (13) 特に問題があると思う障がいのある人の人権

問13 障がいのある人の人権の人権について、あなたが、特に問題があると思うことはどのようなことですか。【3つ以内】

特に問題があると思う障がいのある人の人権は、「障がいのある人に対する人々の理解が不十分なこと」の割合が60.8%と最も高く、次いで「働ける場所や能力を發揮できる機会が少ないこと」(37.1%)、「道路の段差解消、エレベーターの設置など障がいのある人が暮らしやすいまちづくりが進んでいないこと」(24.5%)などの順となっています。

前回調査との大きな違いはみられません。

■今回全体 (n=743) □前回全体 (n=800)

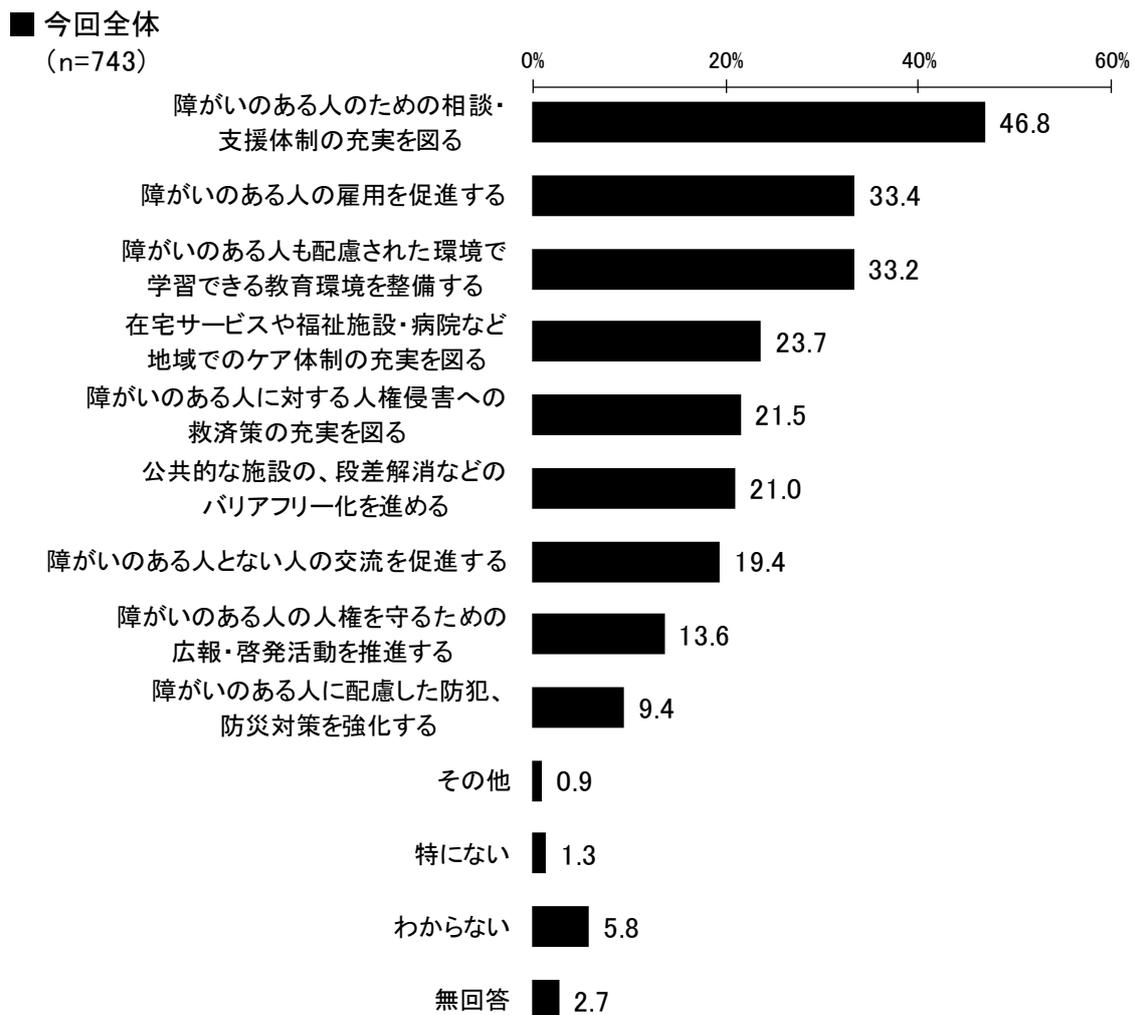


【複数回答】

## (14) 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

問14 あなたは障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つ以内】

障がいのある人の人権を守るために必要なことは、「障がいのある人のための相談・支援体制の充実を図る」の割合が46.8%と最も高く、次いで「障がいのある人の雇用を促進する」(33.4%)、「障がいのある人も配慮された環境で学習できる教育環境を整備する」(33.2%)などの順となっています。



【複数回答】

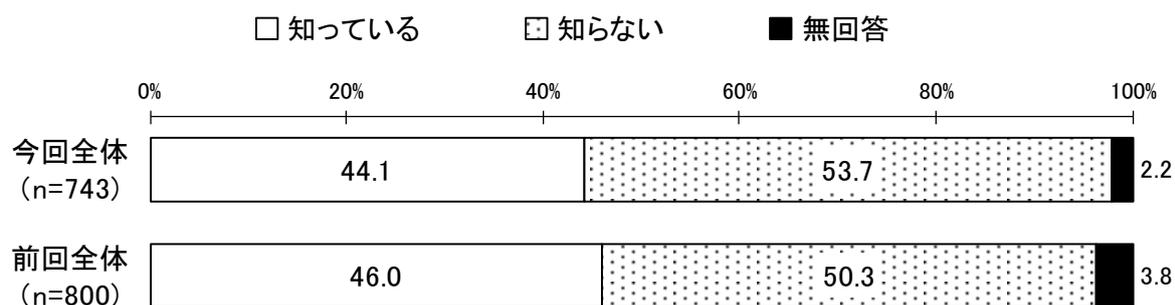
## 6. 同和問題について

### (15) 同和問題があることを知っているか

問15 あなたは、日本の社会に同和地区や同和問題があることを知っていますか。

同和地区や同和問題があることを知っているかは、「知っている」(44.1%)、「知らない」(53.7%)となっており、半数程度が「知らない」と回答しています。

前回調査からは、「知らない」の割合が3ポイント程度の増加となっています。

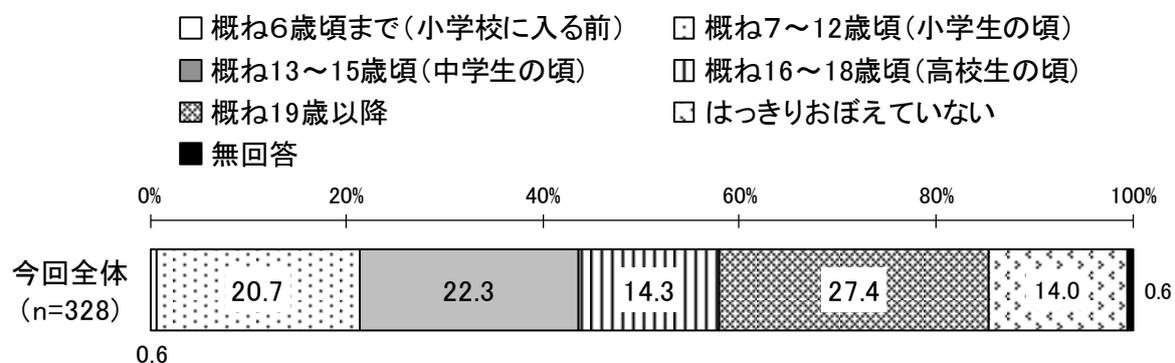


### (16) 同和問題をはじめて知った時期

【問15で、「1 知っている」と回答した方にお聞きします。】

問16 あなたが、同和地区や同和問題について、はじめて知ったのは、いつ頃ですか。

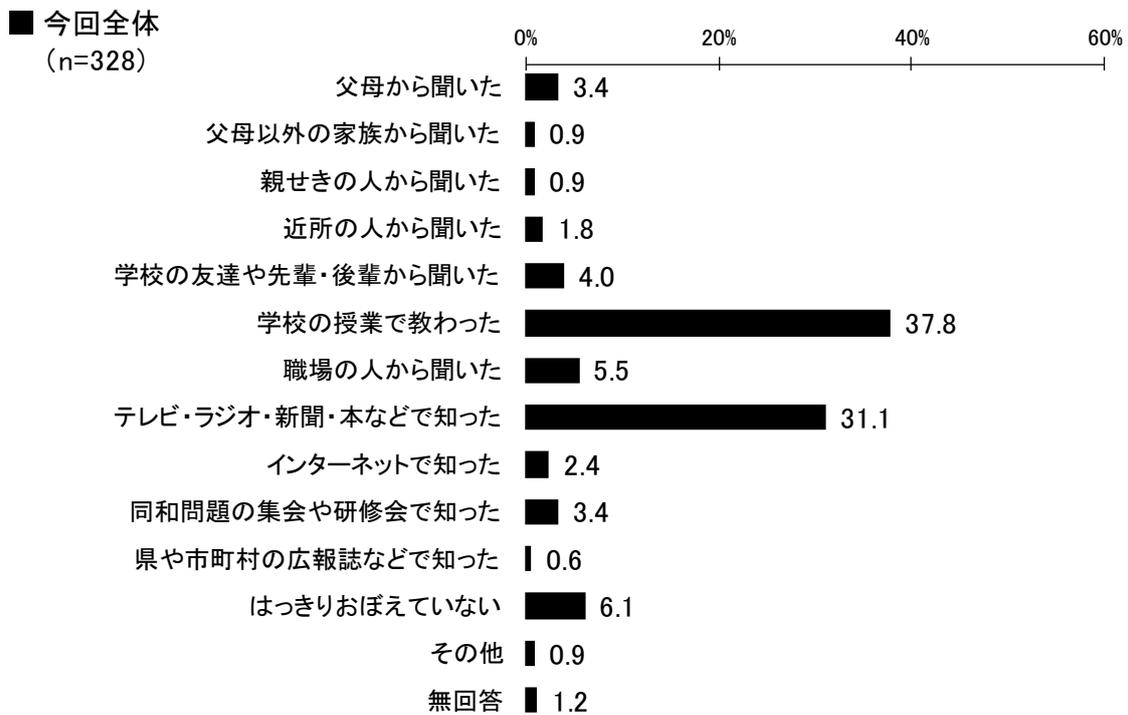
同和地区や同和問題をはじめて知ったのは、「概ね19歳以降」の割合が27.4%と最も高く、次いで「概ね13～15歳頃(中学生の頃)」(22.3%)、「概ね7～12歳頃(小学生の頃)」(20.7%)などの順となっています。



## (17) 同和問題をはじめて知った経緯

問17 あなたが、同和地区や同和問題について、はじめて知ったのは何によってですか。

同和地区や同和問題をはじめて知った経緯は、「学校の授業で教わった」の割合が 37.8% と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」(31.1%) などの順となっており、それ以外の経緯は 10% にも達していません。



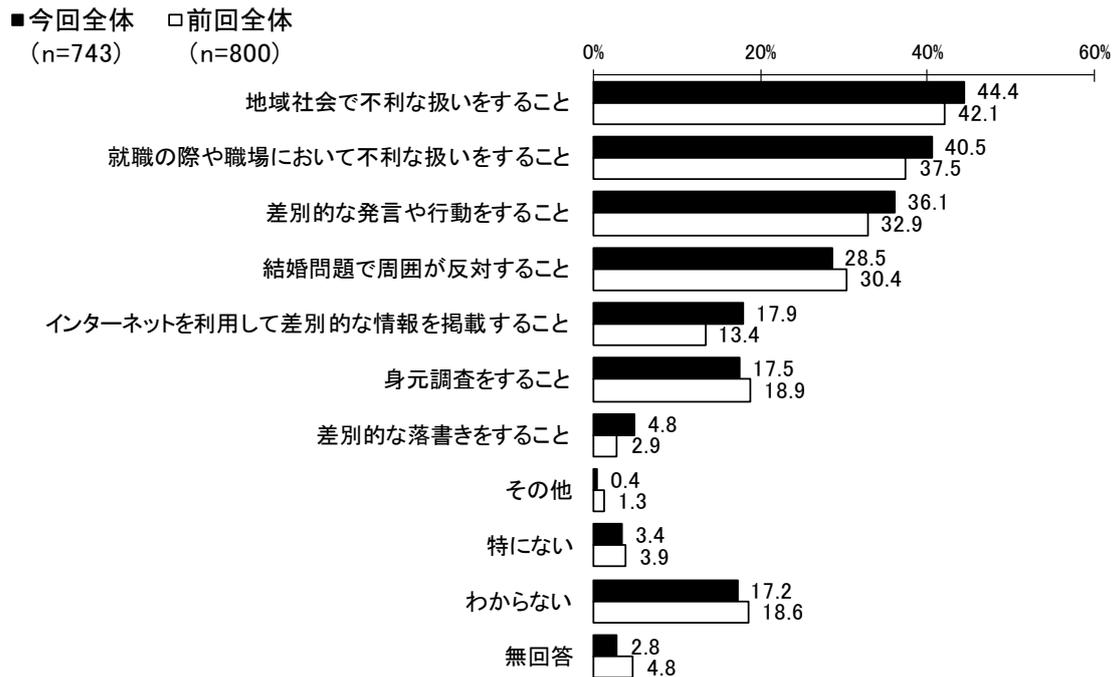
\* 項目数が多いため、単数回答を棒グラフで表記しています

## (18) 問題があると思う同和問題の人権

問18 あなたが、同和問題で、人権上特に問題があると思うことはどのようなことですか。  
【3つ以内】

問題があると思う同和問題の人権は、「地域社会で不利な扱いをすること」の割合が44.4%と最も高く、次いで「就職の際や職場において不利な扱いをすること」(40.5%)、「差別的な発言や行動をすること」(36.1%)などの順となっています。

前回調査との大きな違いはみられません。

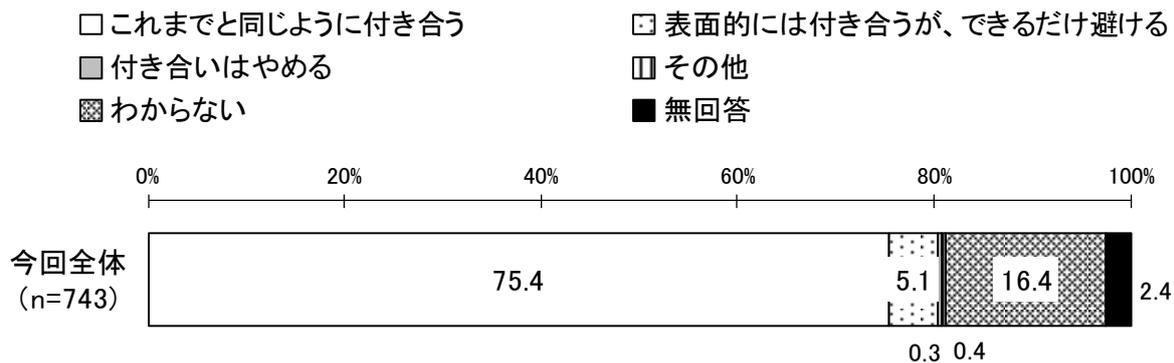


【複数回答】

## (19) 同和地区出身とわかった場合の対応

問19 あなたは、親しく付き合っている隣近所の人が同和地区出身とわかった場合、どうしますか。

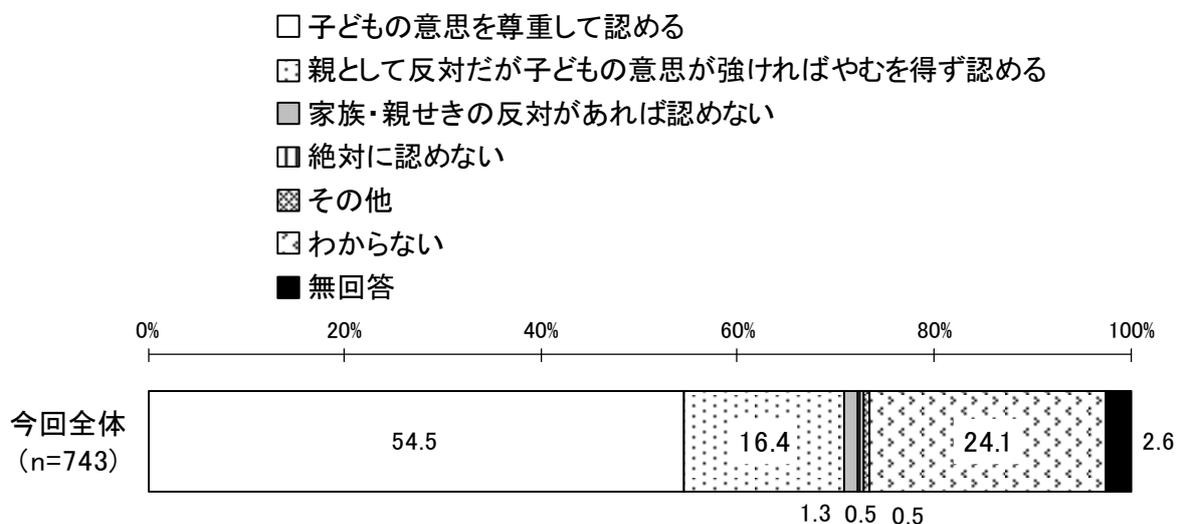
親しく付き合っている隣近所の人が同和地区出身とわかった場合、「これまでと同じように付き合う」の割合が75.4%と最も高く、次いで「わからない」(16.4%)などの順となっています。また、「表面的には付き合うが、できるだけ避ける」は5.1%となっています。



## (20) 子どもにおける同和地区出身者との結婚

問20 仮に、あなたのお子さんが、同和地区の人と結婚しようとした時、あなたは どうしますか。

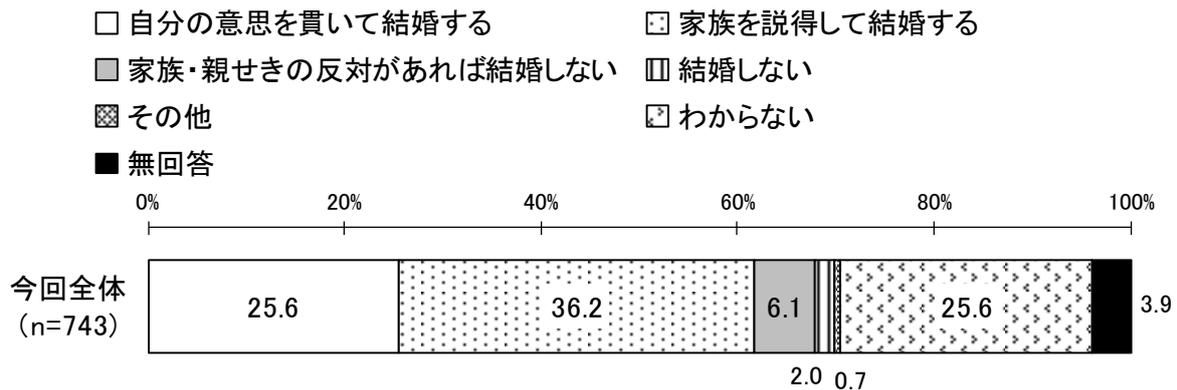
子どもが同和地区の人と結婚しようとした時は、「子どもの意思を尊重して認める」の割合が54.5%と最も高く、次いで「わからない」(24.1%)、「親として反対だが子どもの意思が強ければやむを得ず認める」(16.4%)などの順となっています。



## (21) 同和地区出身者との結婚に強く反対された場合

問21 仮に、あなたが、同和地区の人と結婚しようとしたとき、家族や親せきから強い反対を受けた場合、あなたは、どう対応しますか。

同和地区の人と結婚しようとした時に家族等から強い反対を受けた場合、「家族を説得して結婚する」の割合が36.2%と最も高く、次いで「自分の意思を貫いて結婚する」と「わからない」がそれぞれ25.6%などの順となっています。



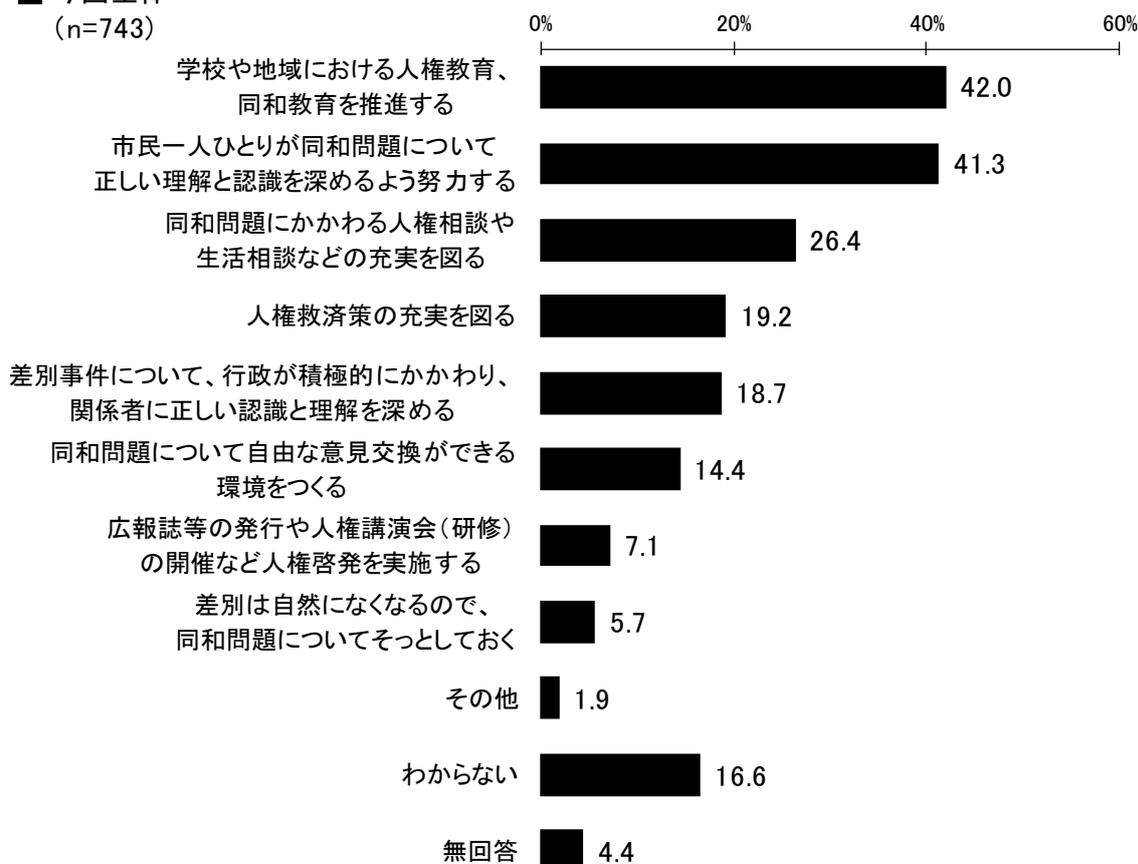
## (22) 同和問題解決のために必要なこと

問22 あなたは、同和問題を解決するために、どのようなことが必要だと思いますか。

【3つ以内】

同和問題解決のために必要なことは、「学校や地域における人権教育、同和教育を推進する」の割合が42.0%と最も高く、次いで「市民一人ひとりが同和問題について正しい理解と認識を深めるよう努力する」(41.3%)、「同和問題にかかわる人権相談や生活相談などの充実を図る」(26.4%)などの順となっています。

■ 今回全体  
(n=743)

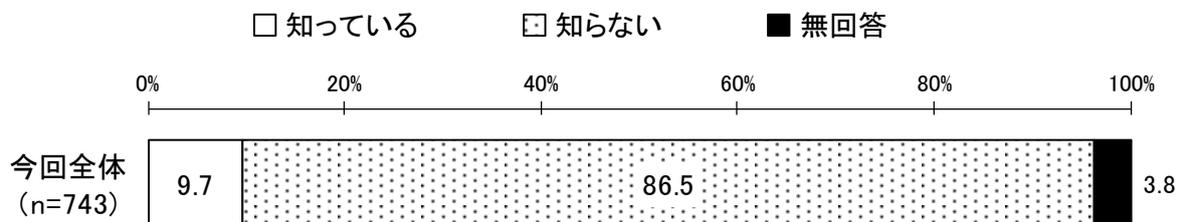


【複数回答】

## (23) 部落差別解消推進法を知っているか

問23 あなたは、部落差別解消推進法を知っていますか。

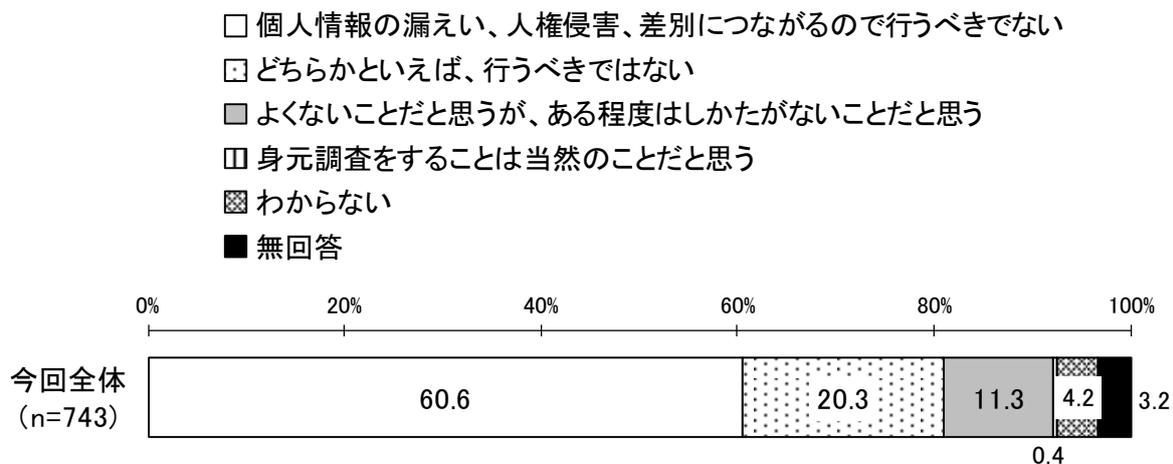
部落差別解消推進法を知っているかは、「知っている」(9.7%)、「知らない」(86.5%)と、ほとんどの人が「知らない」と回答しています。



## (24) 本人了承なしの身元調査について

問24 本人の知らないところで第三者が勝手に本籍、出生、家庭環境、国籍、資産などを調べることを身元調査といいます。第三者が本人の了承を得ないで身元調査を行うことについて、あなたはどのように考えますか。

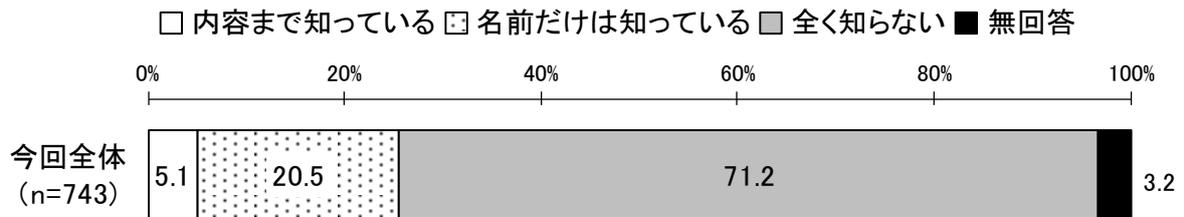
本人の了承を得ない身元調査は、「個人情報の漏えい、人権侵害、差別につながるので行うべきでない」の割合が60.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば、行うべきではない」(20.3%)、「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う」(11.3%)などの順となっています。



## (25) 本人通知制度を知っているか

問25 あなたは、本人通知制度を知っていますか。

本人通知制度を知っているかは、「全く知らない」の割合が71.2%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」(20.5%)となっています。「内容まで知っている」の割合は5.1%に留まっています。



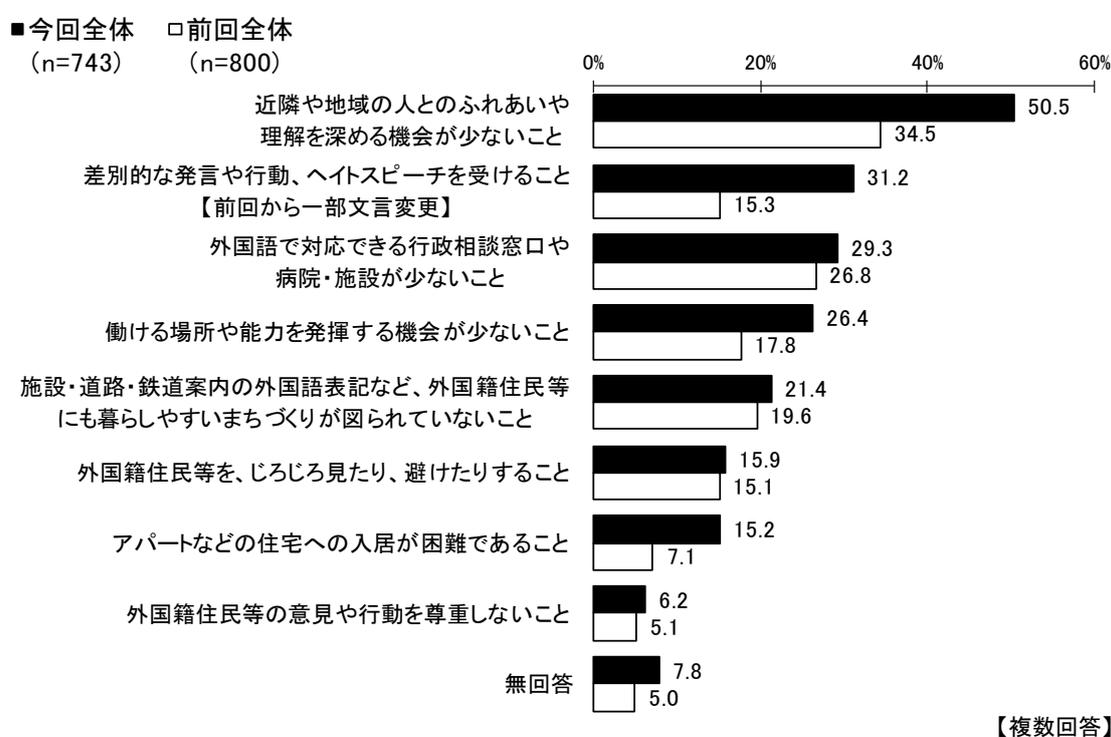
## 7. 外国籍住民等の人権について

### (26) 特に問題があると思う外国籍住民等の人権

問26 外国籍住民等の人権について、あなたが、特に問題があると思うことはどのようなことですか。【3つ以内】

特に問題があると思う外国籍住民等の人権は、「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」の割合が50.5%と最も高く、次いで「差別的な発言や行動、ヘイトスピーチを受けること【前回から一部文言変更】」(31.2%)、「外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと」(29.3%)などの順となっています。

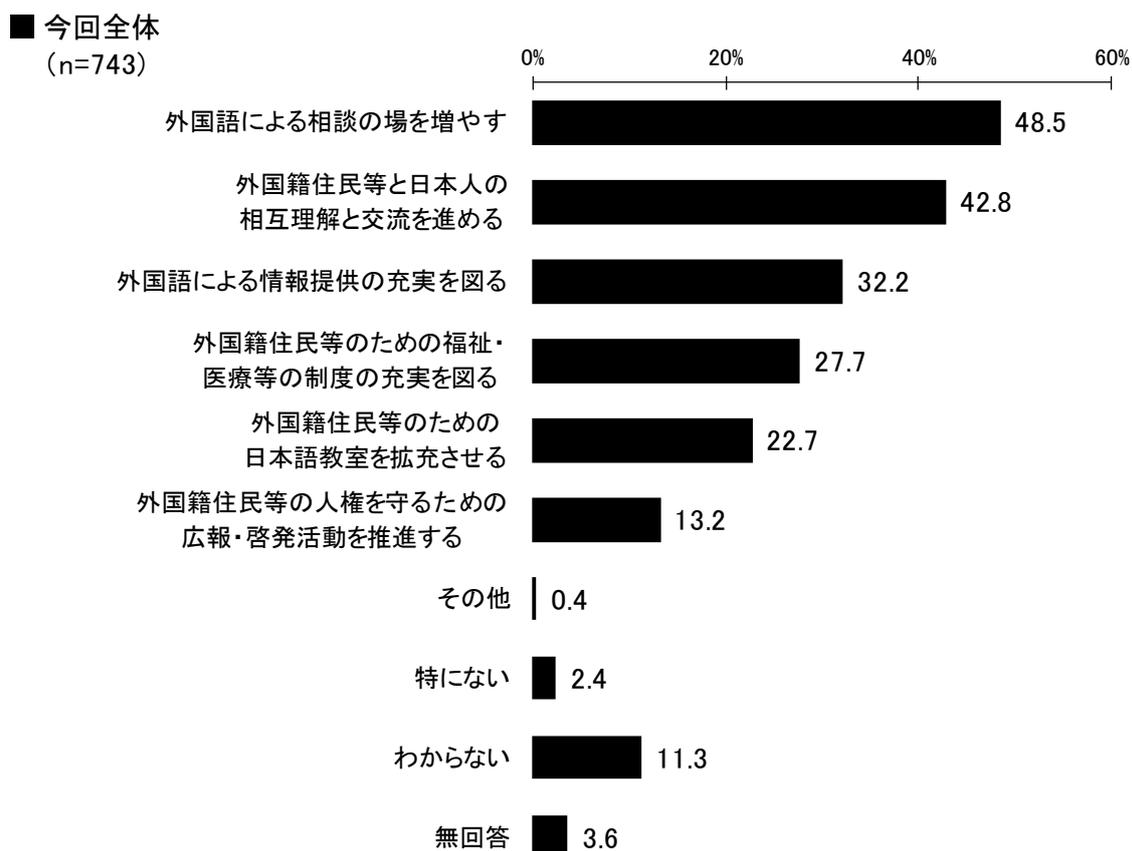
前回調査からは、近隣や地域の人とのふれあい等を深める機会の減少や、差別的な発言や言動等やヘイトスピーチ、の割合が15ポイント程度高くなっています。



## (27) 外国籍住民等の人権を守るために必要なこと

問27 あなたは、外国籍住民等の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つ以内】

外国籍住民等の人権を守るために必要なことは、「外国語による相談の場を増やす」の割合が48.5%と最も高く、次いで「外国籍住民等と日本人の相互理解と交流を進める」(42.8%)、「外国語による情報提供の充実を図る」(32.2%)などの順となっています。



【複数回答】

## 8. 新型コロナウイルス感染症をめぐる人権について

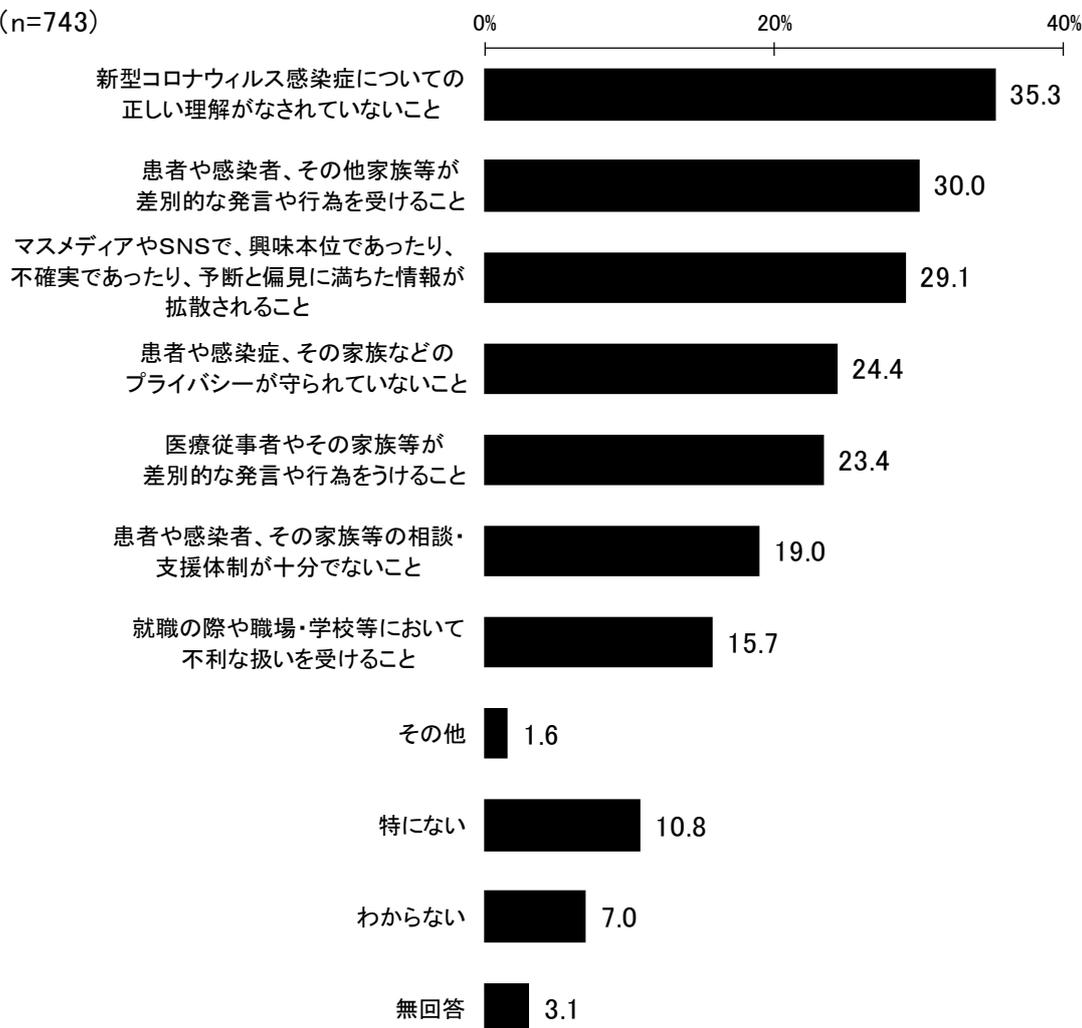
### (28) 特に守られていないと思う新型コロナウイルス感染症患者等の人権

問28 あなたが、「新型コロナウイルス感染症の患者等の人権で特に守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。【3つ以内】

特に守られていないと思う新型コロナウイルス感染症患者等の人権は、「新型コロナウイルス感染症についての正しい理解がなされていないこと」の割合が35.3%と最も高く、次いで「患者や感染者、その他家族等が差別的な発言や行為を受けること」(30.0%)、「マスメディアやSNSで、興味本位であったり、不確実であったり、予断と偏見に満ちた情報が拡散されること」(29.1%)などの順となっています。

#### ■ 今回全体

(n=743)

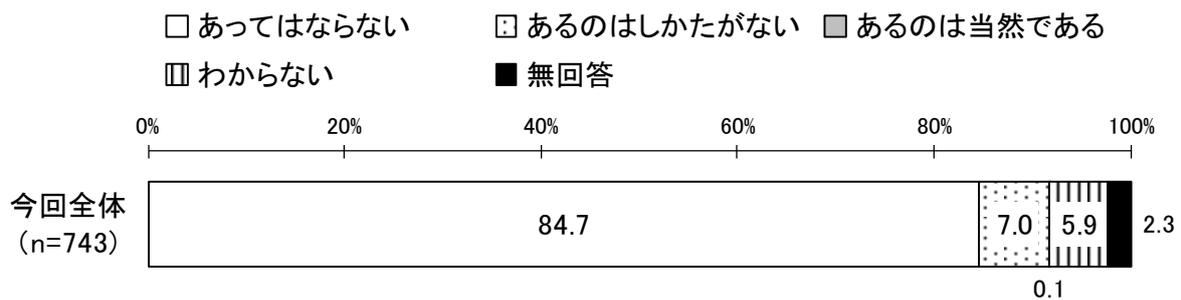


【複数回答】

## (29) 新型コロナウイルス感染症患者やその家族等への人権侵害について

問29 新型コロナウイルス感染症の患者やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷やプライバシーの暴露といったインターネット上の差別的な書き込みなどの人権侵害に対して、あなたのお考えに近いものはどれですか

新型コロナウイルス感染症患者やその家族、医療従事者等に対する人権侵害について、「あつてはならない」の割合が 84.7%と最も高く、次いで「あるのはしかたがない」(7.0%)、「わからない」(5.9%)などの順となっています。

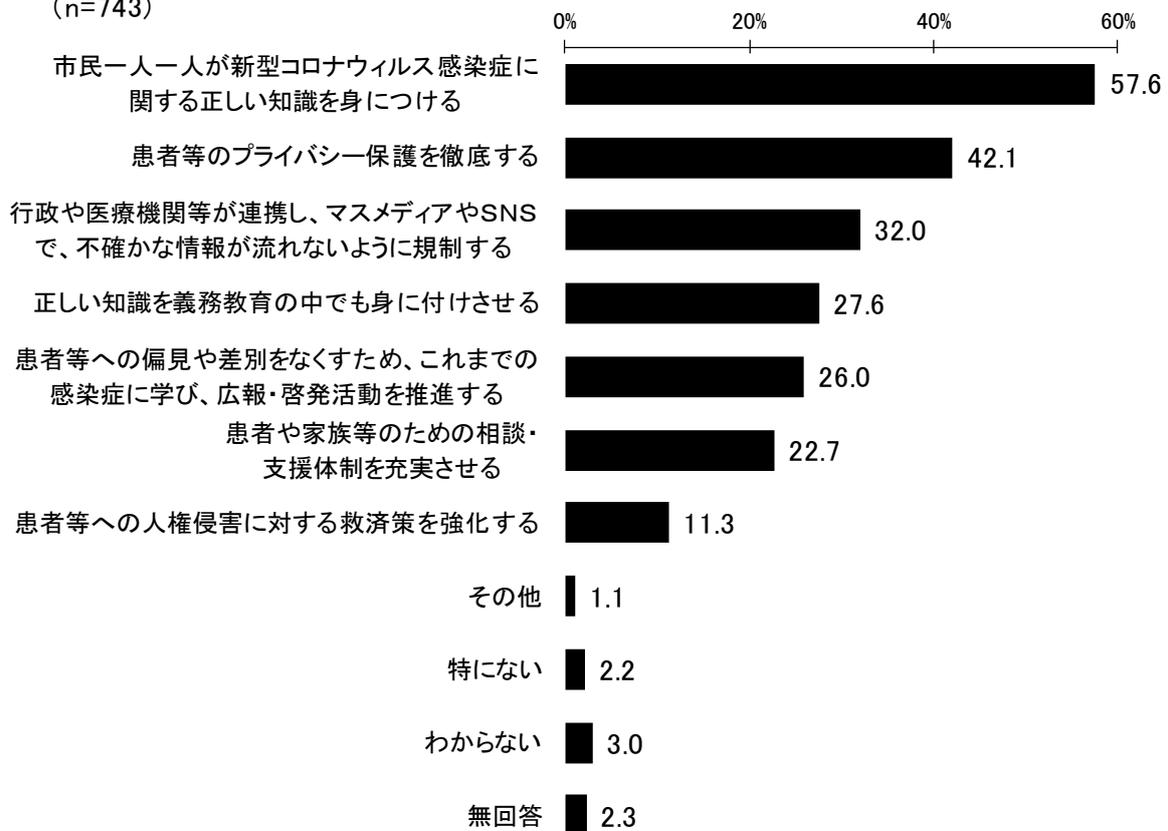


### (30) 新型コロナウイルス感染症患者等の人権を守るために必要なこと

問30 あなたは、新型コロナウイルス感染症の患者等の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。【3つ以内】

新型コロナウイルス感染症の患者等の人権を守るために必要なことは、「市民一人一人が新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を身につける」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「患者等のプライバシー保護を徹底する」(42.1%)、「行政や医療機関等が連携し、マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制する」(32.0%)などの順となっています。

■ 今回全体  
(n=743)



【複数回答】

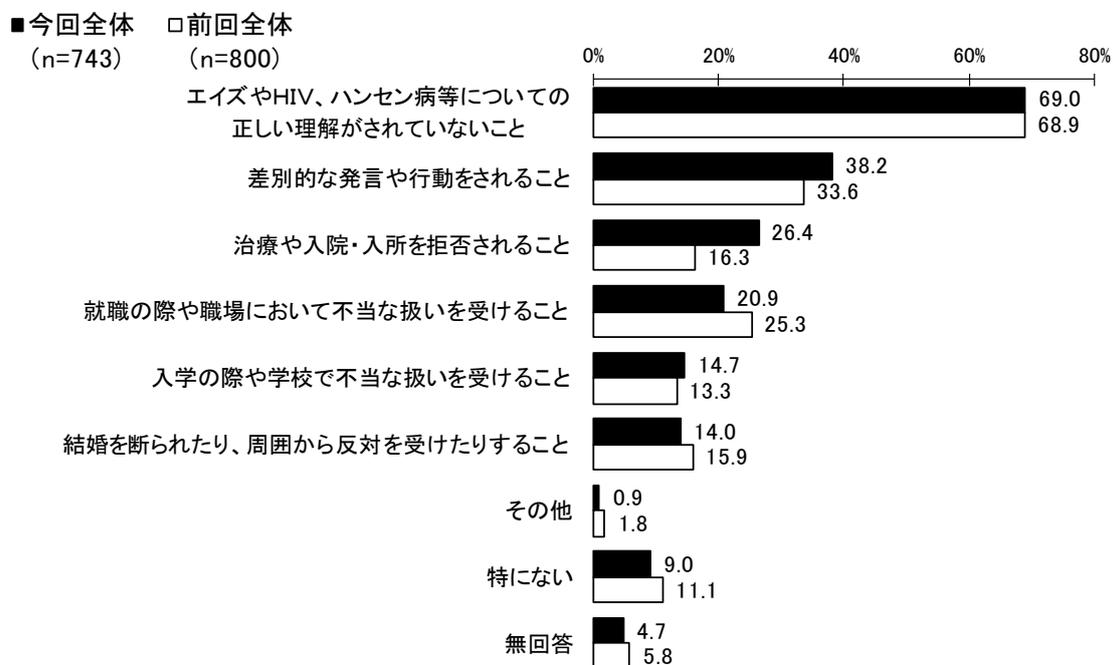
## 9. 感染症患者等の人権について

### (31) 特に問題があると思う感染症患者等の人権

問31 感染症患者等（エイズ患者、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染者、ハンセン病患者および元患者など）の人権について、あなたが、特に問題があると思うことはどのようなことですか。【3つ以内】

特に問題があると思う感染症患者等の人権は、「エイズやHIV、ハンセン病等についての正しい理解がされていないこと」の割合が69.0%と最も高く、次いで「差別的な発言や行動をされること」(38.2%)、「治療や入院・入所を拒否されること」(26.4%)などの順となっています。

前回調査からは、「治療や入院・入所を拒否されること」の割合が10.1ポイント高くなっています。



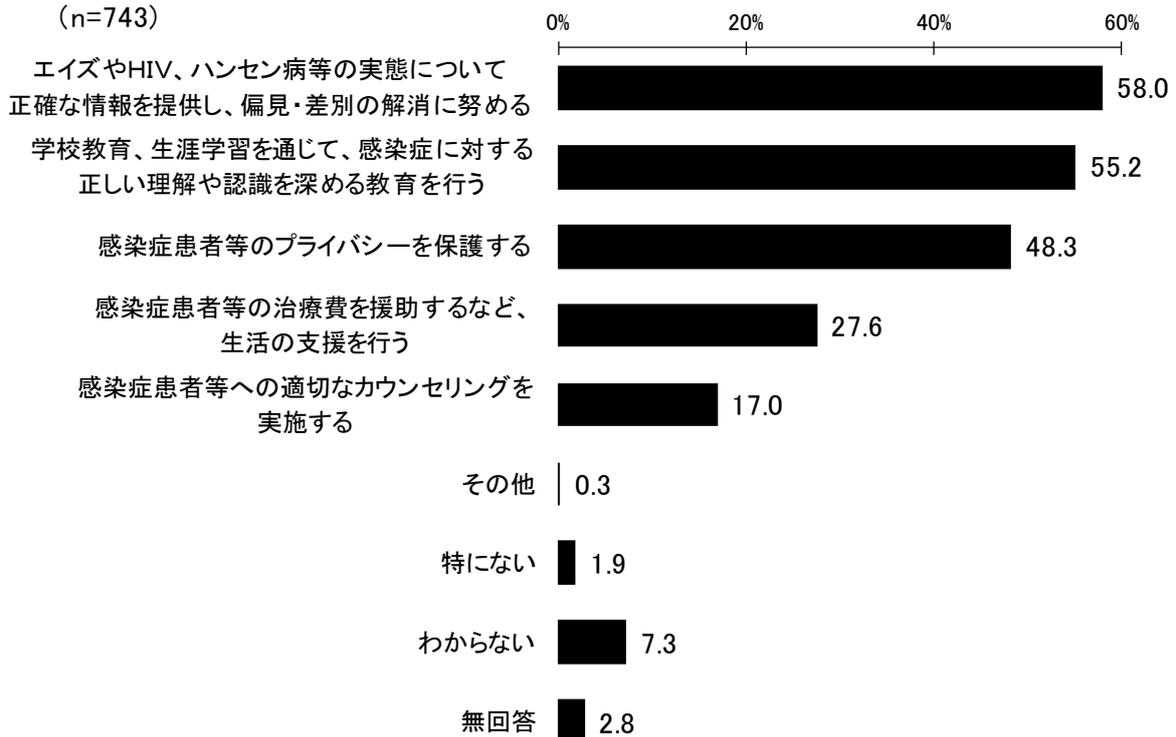
【複数回答】

## (32) 感染症患者等の人権を守るために必要なこと

問32 あなたは、感染症患者等の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。  
【3つ以内】

感染症患者等の人権を守るために必要なことは、「エイズやH I V、ハンセン病等の実態について正確な情報を提供し、偏見・差別の解消に努める」の割合が58.0%と最も高く、次いで「学校教育、生涯学習を通じて、感染症に対する正しい理解や認識を深める教育を行う」(55.2%)、「感染症患者等のプライバシーを保護する」(48.3%)などの順となっています。

### ■ 今回全体 (n=743)



【複数回答】

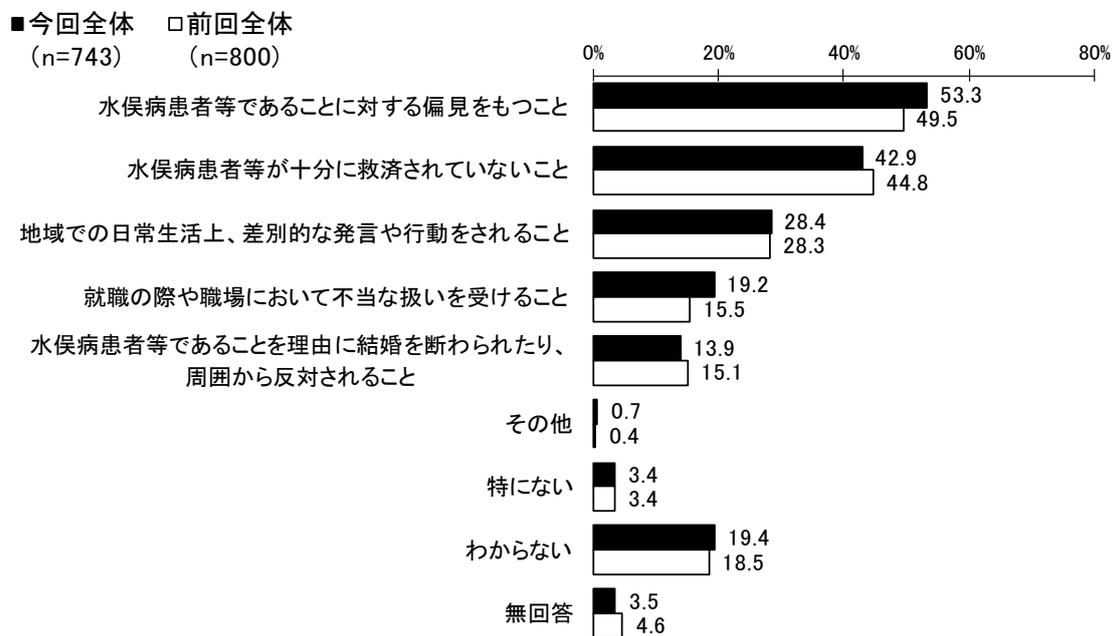
## 10. 新潟水俣病患者等の人権について

### (33) 特に問題があると思う新潟水俣病患者等の人権

問33 新潟水俣病患者とその家族の人権について、あなたが、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。【3つ以内】

特に問題があると思う新潟水俣病患者等の人権は、「水俣病患者等であることに対する偏見をもつこと」の割合が53.3%と最も高く、次いで「水俣病患者等が十分に救済されていないこと」(42.9%)、「地域での日常生活上、差別的な発言や行動をされること」(28.4%)などの順となっています。

前回調査との大きな違いはみられません。

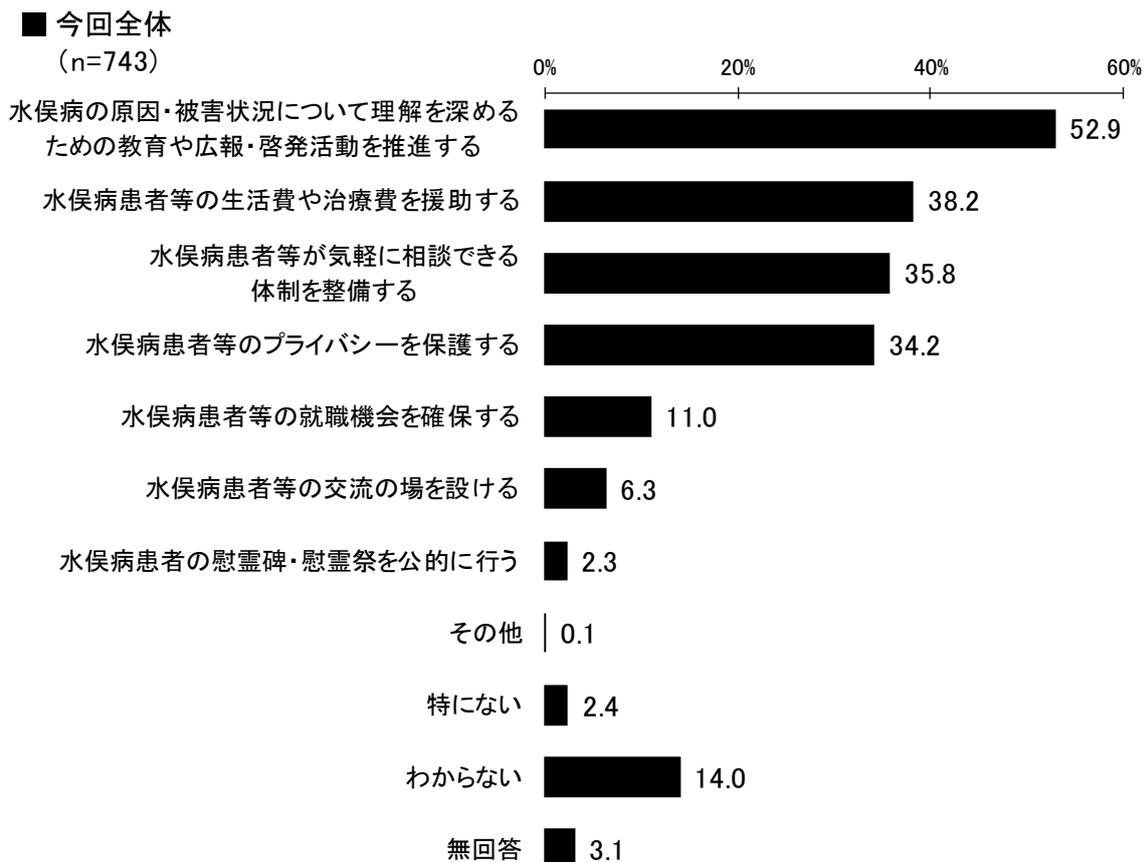


【複数回答】

## (34) 新潟水俣病患者等の人権を守るために必要なこと

問34 あなたは、新潟水俣病患者とその家族の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。【3つ以内】

新潟水俣病患者等の人権を守るために必要なことは、「水俣病の原因・被害状況について理解を深めるための教育や広報・啓発活動を推進する」の割合が52.9%と最も高く、次いで「水俣病患者等の生活費や治療費を援助する」(38.2%)、「水俣病患者等が気軽に相談できる体制を整備する」(35.8%)などの順となっています。



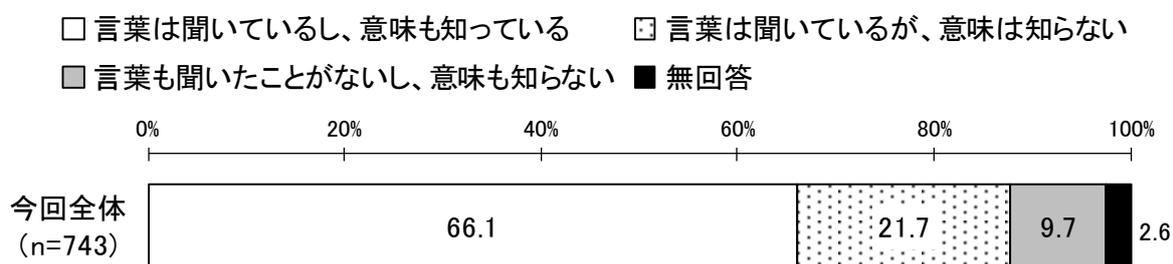
【複数回答】

## 11. 性的マイノリティをめぐる人権問題について

### (35) 性的マイノリティ、LGBTQという言葉の認知度

問35 あなたは、性的マイノリティ（性的少数者）、LGBTQといういずれかの言葉を聞いたことがありますか。

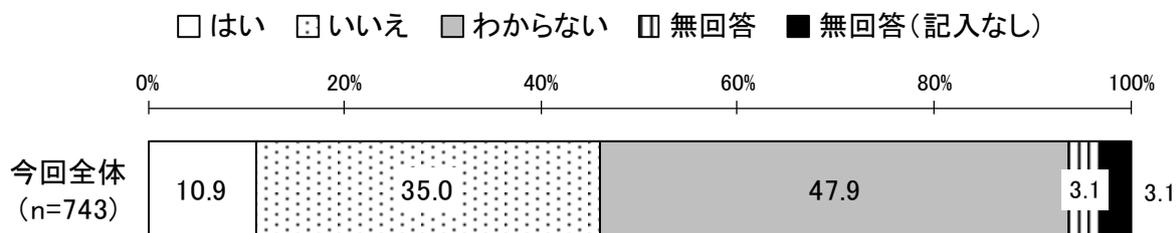
性的マイノリティ、LGBTQといういずれかの言葉を聞いたことがあるかは、「言葉は聞いているし、意味も知っている」の割合が66.1%と最も高く、次いで「言葉は聞いているが、意味は知らない」(21.7%)、「言葉も聞いたことがないし、意味も知らない」(9.7%)の順となっています。



### (36) 周囲に性的マイノリティはいるか

問36 あなたの周りにLGBTQ等性的少数者と思われる人はいますか。

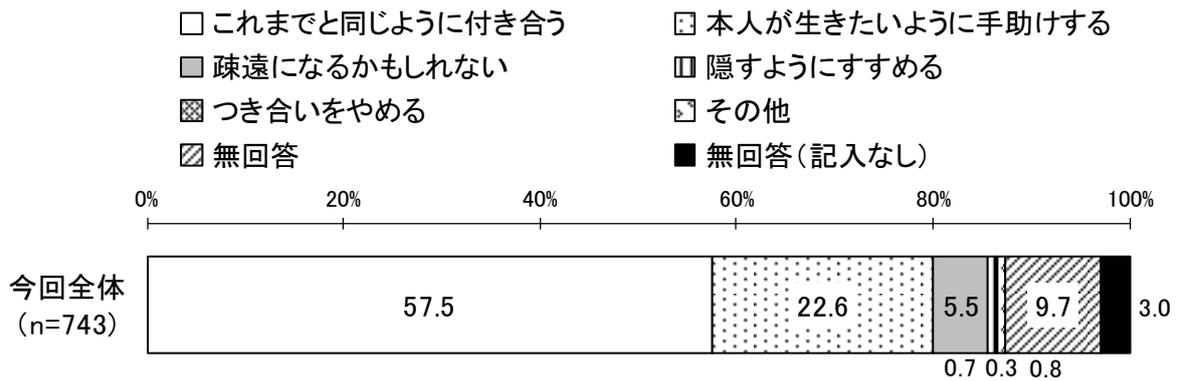
周囲にLGBTQ等性的少数者と思われる人はいるかは、「わからない」の割合が47.9%と最も高く、次いで「いいえ」(35.0%)、「はい」(10.9%)などの順となっています。



### (37) 身近な人からのカミングアウトについて

問37 身近な人（家族、友人等）からLGBTQであることを打ち明けられたらどうしますか。

身近な人からカミングアウトされた場合、「これまでと同じように付き合う」の割合が57.5%と最も高く、次いで「本人が生きたいように手助けする」(22.6%)、「無回答」(9.7%)などの順となっています。

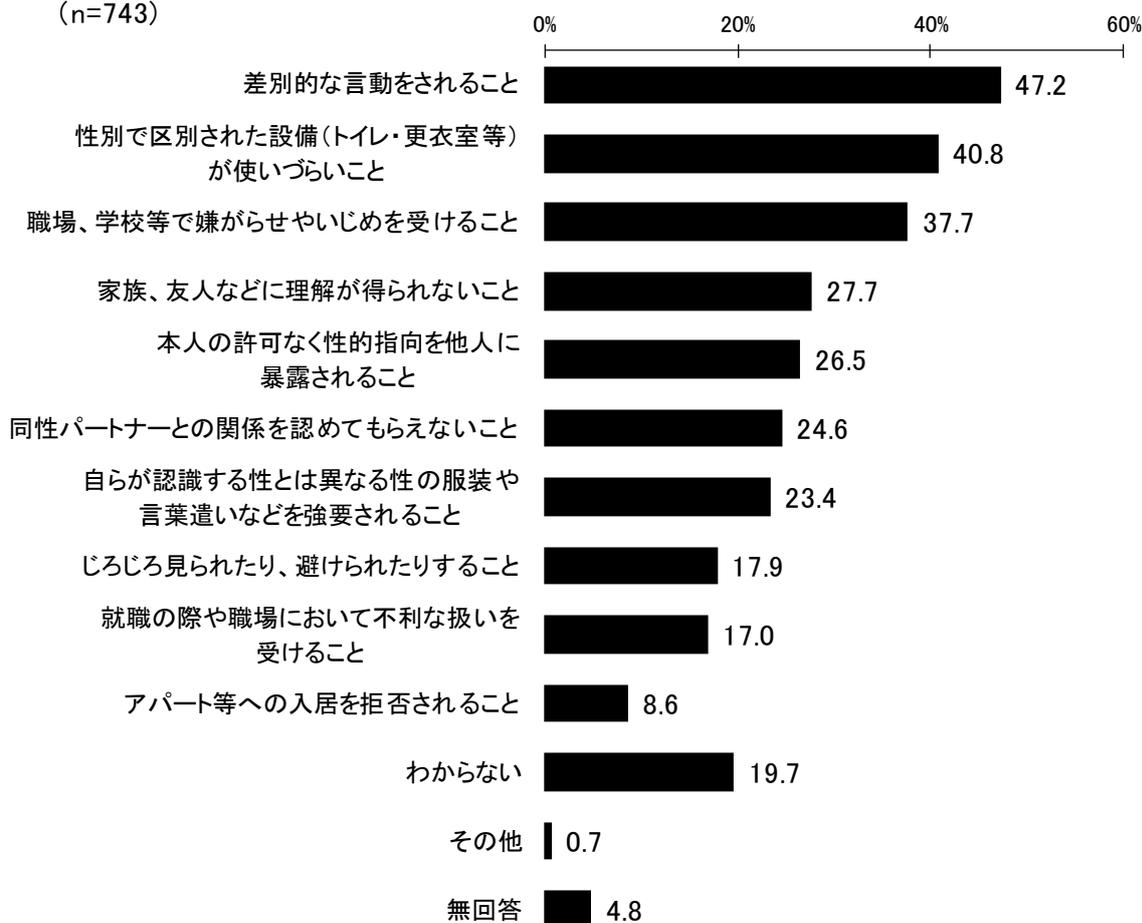


## (38) 守られていないと思う性的マイノリティの人権

問38 あなたが、「性的マイノリティ（LGBTQ等）の人権が守られていない」と思われるのは、どのようなことですか。【複数回答】

守られていないと思う性的マイノリティの人権は、「差別的な言動をされること」の割合が47.2%と最も高く、次いで「性別で区別された設備（トイレ・更衣室等）が使いづらいこと」（40.8%）、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」（37.7%）などの順となっています。

■ 今回全体  
(n=743)

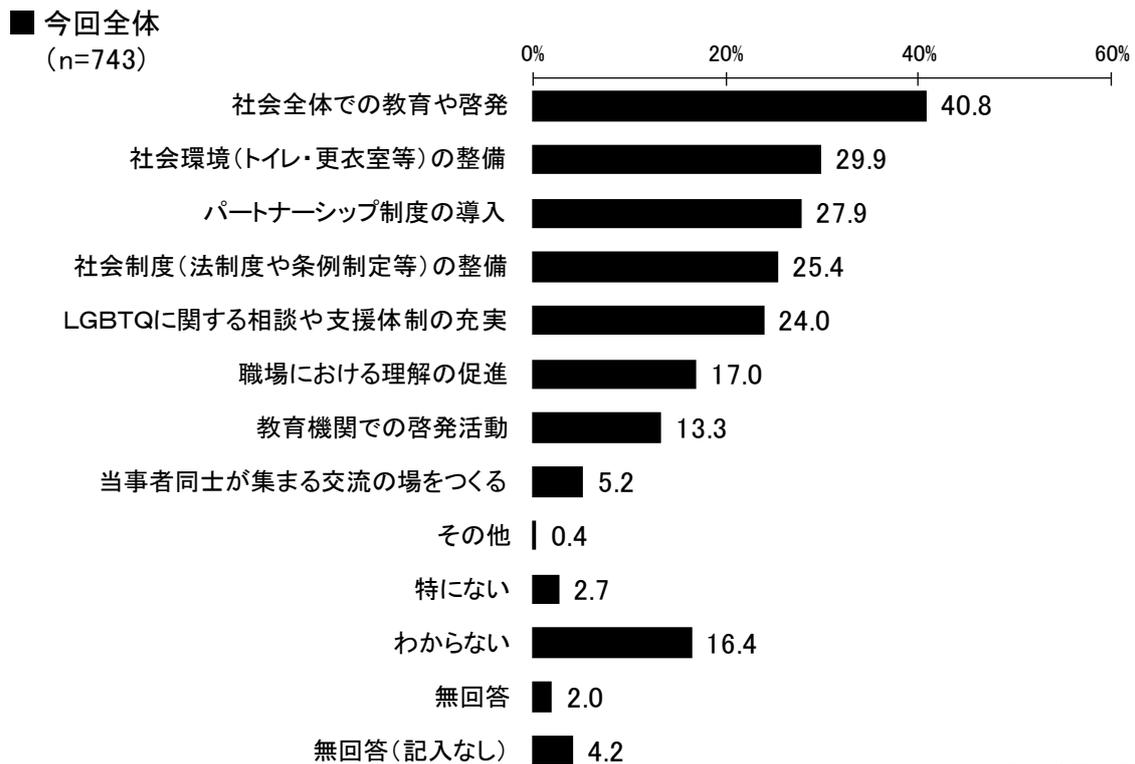


【複数回答】

### (39) 性的マイノリティの人権を守るために特に必要なこと

問39 あなたは、性的マイノリティ（LGBTQ等）の人権を守るために、特にどのようなことが必要だと思いますか。【3つ以内】

性的マイノリティの人権を守るために特に必要なことは、「社会全体での教育や啓発」の割合が40.8%と最も高く、次いで「社会環境（トイレ・更衣室等）の整備」（29.9%）、「パートナーシップ制度の導入」（27.9%）などの順となっています。



【複数回答】

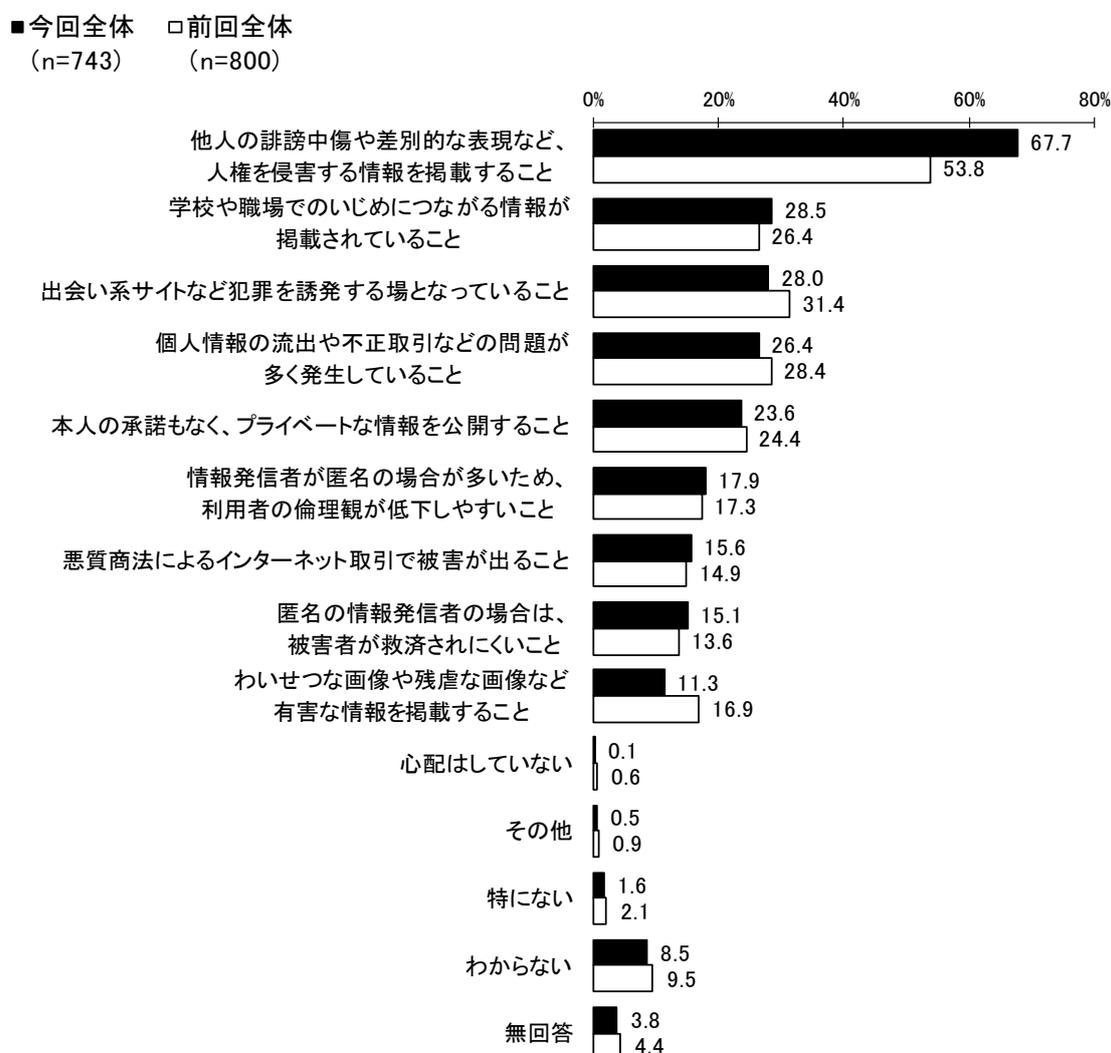
## 12. インターネット上での人権侵害について

### (40) 特に問題があると思うインターネットの利用

問40 あなたは、コンピュータやスマートフォンなどのインターネット利用に関することで、特に問題があると思うのはどのようなことですか。【3つ以内】

特に問題があると思うインターネットの利用は、「他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載すること」の割合が67.7%と最も高く、次いで「学校や職場でのいじめにつながる情報が掲載されていること」(28.5%)、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」(28.0%)などの順となっています。

前回調査からは、「他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載すること」の割合が13.9ポイント高くなっています。



【複数回答】

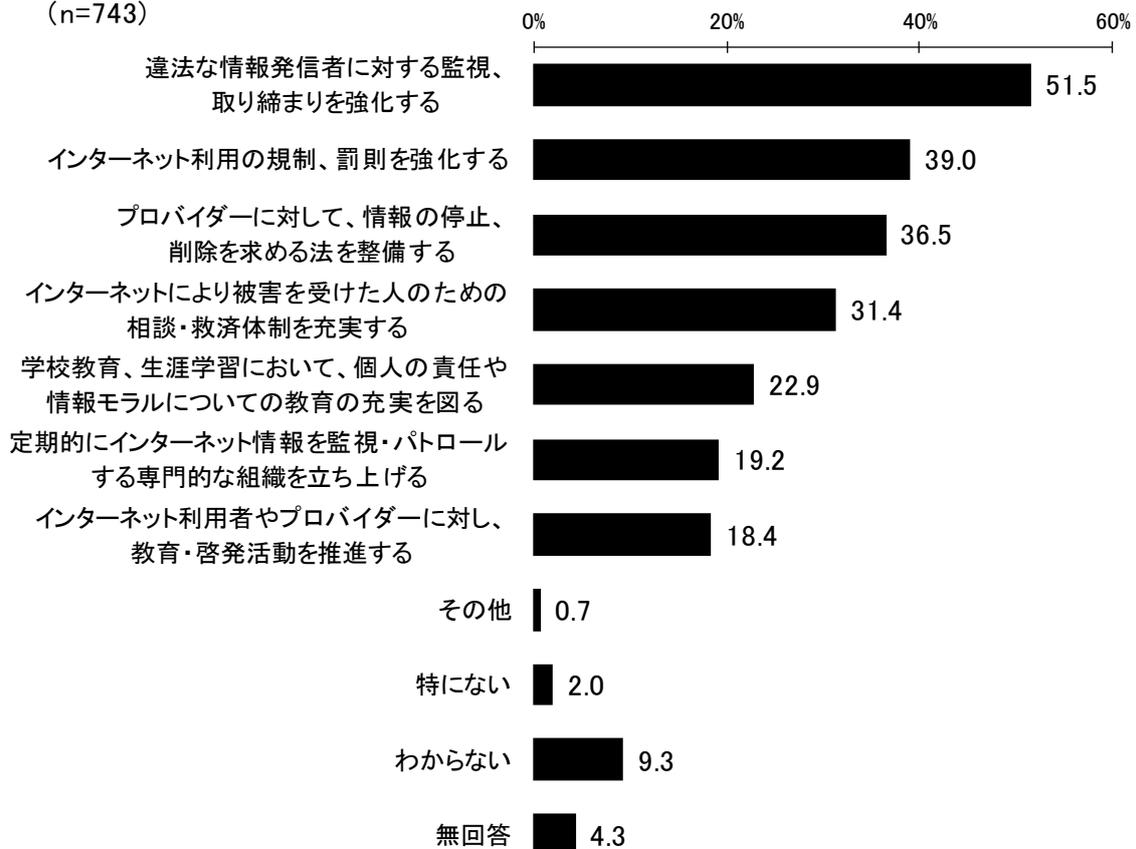
## (41) インターネット上における人権侵害を無くすために必要なこと

問41 あなたは、インターネットによる人権侵害を無くすためには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つ以内】

インターネット上における人権侵害を無くすために必要なことは、「違法な情報発信者に対する監視、取り締まりを強化する」の割合が51.5%と最も高く、次いで「インターネット利用の規制、罰則を強化する」(39.0%)、「プロバイダーに対して、情報の停止、削除を求める法を整備する」(36.5%)などの順となっています。

### ■ 今回全体

(n=743)



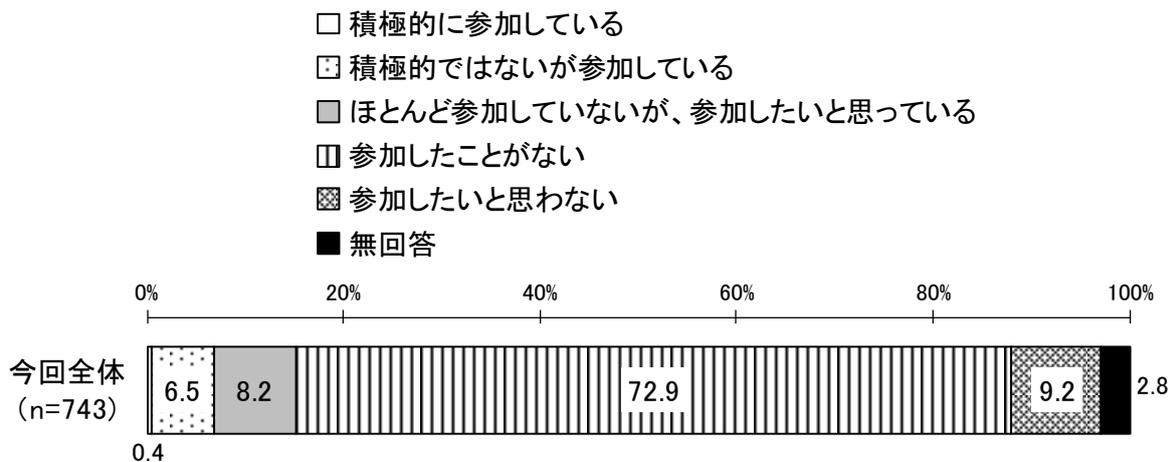
【複数回答】

## 13. 人権を守るための活動について

### (42) 人権問題に関する講演会等に参加したことがあるか

問42 あなたは、人権問題に関する講演会や研修会、イベントなどに参加したことがありますか。

人権問題に関する講演会や研修会、イベントなどに参加したことがあるかは、「参加したことがない」の割合が72.9%と最も高く、次いで「参加したいと思わない」(9.2%)、「ほとんど参加していないが、参加したいと思っている」(8.2%)などの順となっています。



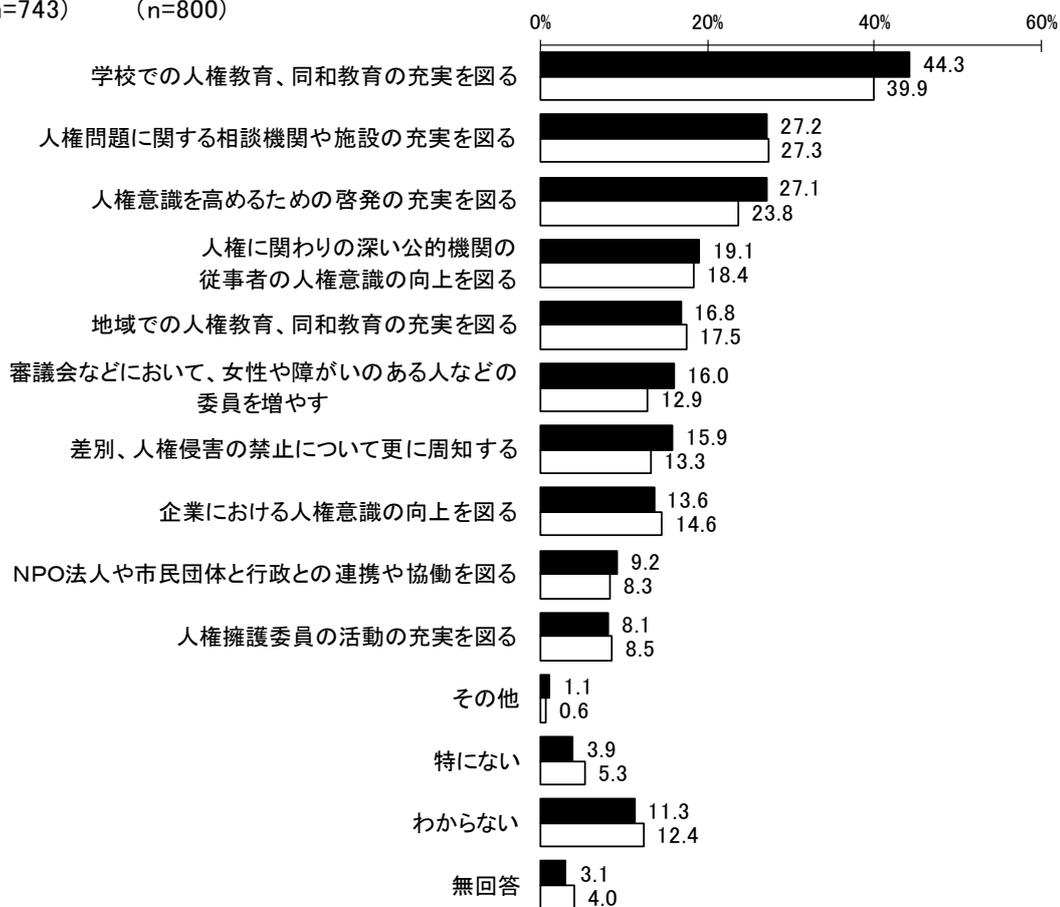
### (43) 必要と思われる人権に関する取組

問43 燕市において、今後どのような人権に関する取組が必要と思いますか。【3つ以内】

燕市において今後必要と思われる人権に関する取組は、「学校での人権教育、同和教育の充実を図る」の割合が44.3%と最も高く、次いで「人権問題に関する相談機関や施設の充実を図る」(27.2%)、「人権意識を高めるための啓発の充実を図る」(27.1%)などの順となっています。

前回調査との大きな違いはみられません。

■今回全体 (n=743) □前回全体 (n=800)



【複数回答】

## Ⅲ. 総括

### 1. 調査結果のまとめ

- 人権や差別の問題に「かなり関心がある」から「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”割合は84.4%と約8割が関心を持っており、前回調査よりも12ポイント程度増加しています。しかし、人権問題に関する講演会や研修会、イベントなどへの参加状況については、「参加したことがない」が約7割とほとんどを占め、「積極的に参加している」と「積極的ではないが参加している」を合わせても1割未満となっています。【問1、42】
- 基本的人権が守られているかどうかについて、「よく守られている」から「だいたい守られている」を合わせた“守られている”割合は77.2%と、8割弱が守られていると感じており、前回調査よりやや高くなっています。【問2】
- 自分の人権が侵害されたと思ったことがある人が27.3%と3割弱おり、その内容は「あらぬうわさ、悪口、かげ口を言われたこと」と「職場で不利な扱いを受けたこと」が4割台で、「パワーハラスメントを受けたこと」が3割台となっています。また、「パワーハラスメントを受けたこと」や「名誉や信用を傷つけられたり、侮辱を受けたこと」などの割合が前回調査より高くなっています。【問3、4】
- 自分の人権が侵害された場合の対応は、「家族や親せきに相談する」が約6割と最も高く、次いで「友人に相談する」が3割台、「新潟県や燕市に相談する」が2割台となっています。【問5】
- 関心のある人権問題は、「障がいのある人に対する人権問題」の割合が56.5%と最も高く、次いで「子どもに対する人権問題」と「女性に対する人権問題」がそれぞれ4割台となっています。前回調査からは、「犯罪被害者とその家族に対する人権問題」や「LGBTQに対する人権問題」、「インターネット上での人権問題」がそれぞれ10ポイント程度高く、「新潟水俣病患者とその家族に対する人権問題」や「刑を終えて出所した人に対する人権問題」が10ポイント以上低くなっています。【問6】
- 特に問題があると思う女性の人権は、『男は仕事、女は家庭にいるべき』『女だから〇〇すべき』といった男女の固定的な意識を押しつけることと「就職時の採用条件、仕事の内容、給料の男女差など、職場における男女の待遇が違うこと」が4割台、「職場や地域、学校などでセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）を受けること」が2割台となっています。前回調査からは、固定的な意識の押しつけや職場における待遇の差、の割合が高くなっています。【問7】  
人権を守るために必要なことは「男女ともに、働きながら家事や育児・介護などができる環境の充実を図る」が5割台と最も高くなっています。【問8】
- 特に問題があると思う子どもの人権は、「子ども同士で、身体への直接的な攻撃、仲間はずしや、無視、インターネット上の書き込みなど、相手の嫌がることをしたり、させたりするいじめをすること」が5割台と最も高く、次いで「保護者などが、しつけのつもりで身体に暴行を加えたり

性的に虐待したりすること」が4割台となっています。前回調査からは、保護者などからの身体暴力や性的虐待、教師や指導者等からの体罰や不快な言動、の割合が高くなっています。【問9】  
人権を守るために必要なことは、「家族を含め、子どものための相談・支援体制の充実を図る」、「子どもに対して、他人への思いやりの心を育む」、「子どもの人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育の充実を図る」がそれぞれ3割台となっています。【問10】

- 特に問題があると思う高齢者の人権は、「一人暮らしの高齢者が安心して生活できるような支援が不十分なこと」と「経済的に自立が困難なこと」がそれぞれ4割台、「悪徳商法や詐欺による高齢者の被害が多いこと」が3割台となっています。【問11】

人権を守るために必要なことは、「高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」が4割台、「高齢者のための相談・支援体制を充実する」と「地域での日常の見守り体制を充実する」がそれぞれ3割台となっています。【問12】

- 特に問題があると思う障がいのある人の人権は、「障がいのある人に対する人々の理解が不十分なこと」が6割台と最も高く、次いで「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと」が3割台、「道路の段差解消、エレベーターの設置など障がいのある人が暮らしやすいまちづくりが進んでいないこと」が2割台となっています。【問13】

人権を守るために必要なことは、「障がいのある人のための相談・支援体制の充実を図る」が4割台、「障がいのある人の雇用を促進する」と「障がいのある人も配慮された環境で学習できる教育環境を整備する」がそれぞれ3割台となっています。【問14】

- 同和問題について「知らない」(53.7%)と、知らない人の割合が半数を超えています。同和問題を知った経緯は、「学校の授業で教わった」と「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」がそれぞれ3割台となっています。【問15、17】

- 問題があると思う同和問題の人権は、「地域社会で不利な扱いをすること」と「就職の際や職場において不利な扱いをすること」がそれぞれ4割台となっています。また、問題解決のために必要なことは、「学校や地域における人権教育、同和教育を推進する」と「市民一人ひとりが同和問題について正しい理解と認識を深めるよう努力する」がそれぞれ4割台となっています。【問18、22】

- 特に問題があると思う外国籍住民等の人権は、「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」が5割台と最も高く、次いで「差別的な発言や行動、ヘイトスピーチを受けること」、「外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと」がそれぞれ3割程度となっています。前回調査からは、近隣や地域の人とのふれあい等を深める機会の減少や、差別的な発言や言動等やヘイトスピーチ、の割合が15ポイント程度高くなっています。【問26】

人権を守るために必要なことは、「外国語による相談の場を増やす」と「外国籍住民等と日本人の相互理解と交流を進める」がそれぞれ4割台となっています。【問27】

- 守られていないと思う性的マイノリティの人権は、「差別的な言動をされること」と「性別で区別された設備（トイレ・更衣室等）が使いづらいこと」がそれぞれ4割台、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」が3割台となっています。人権を守るために特に必要なことは、「社会全体での教育や啓発」の割合が4割台となっています。【問 38、39】
- 特に問題があると思うインターネットの利用は、「他人の誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報を掲載すること」が6割台と最も高くなっており、前回調査から13.9ポイント高くなっています。【問 40】  
インターネット上における人権侵害を無くすために必要なことは、「違法な情報発信者に対する監視、取り締まりを強化する」が5割台と最も高く、次いで「インターネット利用の規制、罰則を強化する」と「プロバイダーに対して、情報の停止、削除を求める法を整備する」がそれぞれ3割台となっています。【問 41】
- 燕市において今後必要と思われる人権に関する取組は、「学校での人権教育、同和教育の充実を図る」が4割台と最も高く、次いで「人権問題に関する相談機関や施設の充実を図る」と「人権意識を高めるための啓発の充実を図る」がそれぞれ2割台となっています。【問 43】

## 2. 提言

- 約8割の人が人権問題に関心がある反面、実際に人権問題に関する講演会等には参加していない人が約7割となっていることから、講演会等への参加以外にも、資料やパンフレット等の作成と配布、広報紙における特集や継続的な掲載、ウェブ媒体を活用した情報提供等、より手軽に人権問題にアクセスできるようにすることが重要です。
- 自分の人権が侵害されたと思ったことについて、あらぬうわさや悪口・かげ口のほか、職場での不利な扱いやパワーハラスメントを受けたことが上位にきていること、また、前回調査よりパワーハラスメントを受けたことや名誉棄損や侮辱を受けたことが高くなっていることから、以前より人権への意識が高まっていることも注視しながら啓発していくことが求められます。
- 人権が侵害された時に、県や市の相談窓口、専門機関等にも気軽に相談できることを知ってもらい、家族や親せき、友人等のみで抱えている必要がないことを伝えることが求められます。
- 関心のある人権問題は、障がいのある人、子ども、女性、高齢者、インターネット上、の順となっており、重点的に取り組むことが重要です。その他の対象については、関心が低いだけで人権侵害がないとは言えないため、他の対象についてもきちんと取り上げ、取り組んでいくことが必要です。
- 男女の固定的な役割意識や職場における男女差の解消など、女性に関する人権問題を取り扱うことは男性に関する問題にもつながるため、両性の問題として取り扱っていくことが重要です。

- 周囲に性的マイノリティがないという回答が3割程度となっていますが、性的マイノリティは本人からのカミングアウトがないとわからないことが多いため、いないのではなく本人が伝えていないだけという前提のもとで啓発し、意識づけをしていく必要があります。
- 人権に関する意識や理解を高めるため、引き続き、教育や啓発の充実が重要です。

---

---

## 人権に関する市民意識調査 結果報告書

---

発行日 令和5年3月

発行 燕市 市民生活部 市民課 市民生活係

〒959-0295 燕市吉田西太田1934番地

電話 0256-77-8107（代表）

---

---